

日録

自明治十六年七月至十二月

511-12
第三類
四三冊
五函架

国立公文書館

分類

配架番号

2 A
31-6
174

明治十六年七月日録目次

太政官

一 會計検査院十四年度國債額其他増減種類内譯表為審
査下付ノ儀 初下

内務省

一 宮内省車府下北豊島郡上板橋宿官林御料馬埤并地々種租替
ノ儀 初下

一 農商務省府下鞠所二丁目郵便局敷地合上 初下

一 海軍省上請救中尉北村敬慎寡婦扶助料 在一時賑恤金給與ノ
儀 二下

儀 二下

一 大蔵省同横濱税関借庫改築用地之種領換ノ儀 六丁

一 宮内省上申靜岡縣下豆洲熱海村献納民有地令上 七丁

一 陸軍省同宮城縣下仙臺屯々岡兵營建設地令上 七丁

一 海軍省上請神奈川縣下大津村海軍埋葬地令上 十丁

一 工部省同三池鑛山分局車道用地令上 十二丁

一 農商務省同横濱驛逓局横須賀分局敷地令上 十二丁

一 工部省同靜岡縣下森所電信分局敷地令上 十三丁

一 海軍省上請故機関士工上長原田勘次外四名扶助料并一時賑

恤金給與ノ儀 十八丁

警 視 廳

一 故岩倉前右大臣葬儀ノ節墓所并道筋取締ノ儀 十六丁

一 今上ノ節巡查長前駈後押ノ儀 十六丁

大 蔵 省

一 宮内省上申泉山御陵墓前建築物其他再建費渡方ノ儀 十丁

一 内務省同英人エツチエスバルマンノ手當金令上 二丁

一 海軍省上請故中尉北村敬博寡婦扶助料并一時賑恤金給與

ノ儀 三丁

一 陸軍省同屯田兵増殖移住費渡方ノ儀 六丁

一 農商務省同大分縣勸業資本金令上 八丁

一 宮内省同増宮御降誕費其他別途金令上 九丁

一 皇居御造營事務局同皇城炎上ノ獻金者ノ賞賜品其他
費金公上 九下ウ

一 宮内省上申有栖川宮邸定建築補足費公上 十一下

一 陸軍省同朝鮮國分遣兵諸費公上 十一下

一 海軍省上請十五年度増加心債交換方ノ儀 十一下ウ

一 内務省上申文部省所轄本郷脚氣病室交換及日本橋芝遊病院
常備保存費渡方ノ儀 十二下

一 農商務省同日佛西政府間交換ノ物品購求費公上 十四下

一 農商務省同新潟縣勸業資本金公上 十四下ウ

一 故前右大臣葬儀御用掛上申葬儀ニ関スル諸費公上 十六下

一 海軍省上請故機関士工上長原田勲次郎四名技助料及一時賑
恤金給與ノ儀 十八下

一 外務省上申特別留學生獨國ノ帰朝旅費別途渡方ノ儀 十九下

一 陸軍省再同東京大坂西砲兵工廠營業資金公上 二十下

一 農商務省同愛媛縣勸業資本金公上 二十一下

陸 軍 省

一 在朝鮮國公使館警備兵中一中隊引揚ノ儀 二十二下

一 岩倉前大臣喪去ニ付死刑ヲ止ムルノ儀 二十五下

一 故岩倉前右大臣葬儀當日半旗及吊砲施行ノ儀 二十七下

海 軍 省

一岩倉前右大臣薨去自死刑ヲ止ムルノ儀 十五丁

一故岩倉前右大臣葬儀當日半旗及吊砲施行ノ儀 十七丁

司法省

一内務省同函館縣布告布達施行日限ノ儀 十一丁ウ

一岩倉前右大臣薨去自死刑ヲ止ムルノ儀 十五丁

一皇居御造營事務局

一皇居御造營振及費額等ノ儀 十二丁ウ

元花院

一醫師規則ノ儀議定 十五丁ウ

一東京大坂横濱株式所引所於金銀貸定期所引及株式所引所仲

買人納税規則第四條但書追加ノ儀今上 十七丁ウ

一米商會所株式所引所仲買人犯則處分及米商會所條例第十九

條中刪除ノ儀今上 十七丁ウ

一酒造税則中改正ノ儀今上 十九丁

一租税未納者處分規則第二條中加除ノ儀今上 十九丁ウ

府縣

一東京府始云府四十四縣十六年度經費補定ノ儀 二十丁ウ

一熊本縣本縣廳費内十五年度以降減額國稅徵收費

増額ノ儀 九丁

一栃木縣二荒山神社經費補定ノ儀 十三丁ウ

一岩倉前右大臣薨去ノ自死刑ヲ止ムルノ儀 十五丁

一故岩倉前右大臣葬儀當日半旗及吊籠施行ノ儀 十七丁

司法省

一内務省同函館縣布告布達施行日限ノ儀 十二丁

一岩倉前右大臣薨去ノ自死刑ヲ止ムルノ儀 十五丁

皇居御造營事務局

一皇居御造營振及費額等ノ儀 十二丁

元花院

一醫師規則ノ儀議定 十五丁

一東京大坂横濱株式取引所於金銀貸定期取引及株式取引所仲

買人納税規則第四條但書追加ノ儀 十五丁

一米商會所株式取引所仲買人犯則處分及米商會所條例第十九

條中刪除ノ儀 十五丁

一酒造稅則中改正ノ儀 十五丁

一租稅未納者處分規則第二條中加除ノ儀 十五丁

府縣

一東京府始三府四十四縣十六年度經費被定ノ儀 十五丁

一熊本縣本縣廳費内十五年度以降減額國稅徵收費

増額ノ儀 九丁

一栃木縣二荒山神社經費被定ノ儀 十三丁

一岩手縣元仙台藩士之改英力家名再興被許儀 二十ノウ
雜

一從四位岩倉具綱、前右大臣薨去、自葬儀御用掛ヲ置キ右
ニ關ル事務取扱被仰付儀 十五ノウ

明治十六年

七月一日 日曜
七月二日 月

大藏省

別紙宮内省上申泉山御陵墓前建物并
泉涌寺再建費下付、件朱書、通及指
令候條金額十五年度分、常用在金、内ヨ
リ渡方可取計共旨相達候事
年月日 太政大臣

會計検査院

明治十四年度分國債額其他増減種
七月

類内譯表大蔵卿ヨリ上呈ニ付為審査
下付候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省上申東京府下北豊島郡
上板橋宿ニ在ル官林御料馬埋葬地
トシテ受領、儀間届候條地種組換等成
規ノ通可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙農商務省同東京府下麹町二丁

目^三四番地郵便局敷地トシテ官上ノ儀間
届候條地種組換等成規ノ通可取計
此旨相違候事

年月日 太政大臣

七月三日 火

大蔵省

別紙内務省同英人エツチ、エス、バルマル

七月二日

手當金ノ儀聞届候條金額十五年度常用在
金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

札幌縣下移住士族授産資金トシテ金五千三百五拾八円八拾五錢七ヶ年据置二十ヶ年賦返納ノ定ノヲ以テ貸下ケノ義農商務卿伺ノ趣聞届候條金額十六年度雜支出中雜出ノ内ヲ以テ渡方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

七月四日 水

内務省 大藏省

別紙海軍省上請故海軍中尉北村敬慎寡婦ノ扶助料并一時賑恤金給與ノ儀聞届候條成規ノ通可取計此旨相違候事

七月四

茨城	群馬	三	愛	靜	山	滋	收	長	宮	福	岩
城	馬	木	重	知	岡	梨	賀	阜	野	城	手
縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣

年月日 太政大臣

東京	大	神	兵	長	新	函	崎	千
京	坂	奈	庫	崎	瀨	館	玉	葉
府	府	川						
府	府	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣

七
月
五
旨相達候事
明治十六年度其縣經一切支辨スレ此
候條談額内ヲ以テ一
切支辨スレ此

愛媛縣 福山縣 大分縣 佐賀縣 熊本縣 鹿兒島縣 宮崎縣 津久野縣 根室縣 青森縣

青森縣 秋田縣 福井縣 石川縣 富山縣 島根縣 鳥取縣 岡山縣 廣島縣 山口縣 德島縣 和歌山縣 山形縣 岩手縣 宮城縣 秋田縣 青森縣

各通

一
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

年月日 太政大臣

七月五日 木

外起

陸軍省

在朝鮮國公使館警備兵一中隊引揚可申
此旨相違係事

年月日 太政大臣

七月六日 金

内務省

別紙大藏省同横濱税関借庫改築地
所被溢_二付同所官有地受領ノ儀聞届
係條地種相換等成規ノ通可取計此
旨相違係事

年月日 太政大臣

七月六日

大藏省

別紙陸軍省同屯田兵増殖移住費ノ
件聞届候條金貳萬七千五百五拾三
圓貳拾七錢四厘ハ十六年度豫備金
ノ内ヨリ渡方可取計此旨相違候事
年月日 太政大臣

七月七日 土

七月八日
七月九日 月

七月十日 火
七月 七

内務省

別紙宮内省上申靜岡縣下豆州熱海
村字清水田ニ在ル献納民有地皇宮附
屬地ニ編入、儀園屈原條地種畑等
成規、通可取計此旨相違候事

年月日 大政大臣

内務省

別紙陸軍省同宮城縣下仙臺區川内
字龜ヶ岡通官有民有兩地合面積五
千九百五拾坪六合兵營建設地トシテ
受領ノ儀園屈原條地種畑等成規

、通可取計此旨相違候事

年月日 大政大臣

七月十一日水

大藏省

大分縣勸業資本トシテ金貳萬貳千六百九拾
貳百五十五年度ヨリ八ヶ年ニ割合年々金貳
千八百三拾六圓五拾錢ツ、来ル二十四年六
月迄据置向十ヶ年賦無利子返納ノ定ヲ以

テ貸下ノ儀農商務省ヨリ伺出ニ付先以十
六年度分ヨリ貸下候儀聞届候條該金額
ハ毎年度臨時歳出雜支出中雜出ノ内ヲ以
テ支出方可取計此旨相達候事

年月日

太政大臣

七月十二日 木

天

熊本縣

其縣廳費据置定額、儀十五年度以降金
千八百八拾六圓相減右同額十五年度ニ
於テ國稅徵收費、増額候條此旨相達候
事

年月日

太政大臣

大藏省

別紙宮内省上申増宮御降誕費其他別
途下付ノ件聞届候條金額十五年度常
用在金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候
事

年月日

太政大臣

七月九

大藏省

別紙皇居御造營事務局伺皇城炎上
獻金者へ賞與品其他ノ費額別途下渡ノ件
朱書ノ通及指令候條金額十五年度常
用在金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

七月十三日 金

七月十四日 土

七月十五日 日
七月十六日 月
七月十七日 日

七月十七日火

内務省

別紙海軍省上請神奈川縣下大津村馬
門山海軍埋葬地へ民有地拾坪増地トシ
テ買收ノ儀簡屆候條地種組替等成規
ノ通可取計此旨相達候事

年月日

太政大臣

大藏省

別紙宮内省上申有栖川宮邸宅建築費補足
ノ儀朱書ノ通及指令候條金額本年度豫備
金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日

太政大臣

大藏省

別紙陸軍省伺朝鮮國分遣兵諸費ノ件聞届
候條十五年分ハ常用在金ノ内ヨリ餘ハ十六
年度豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達
候事

年月日

太政大臣

七月十一

大藏省

別紙海軍省上請十五年度正貨増加ノ儀朱書ノ
通及指令候條時價ヲ以テ交換方可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

司法省

別紙内務省同ノ朱書ノ通指令ニ及ビ候條為心得
此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省上申文部省所轄本郷脚氣病室
交換及日本橋芝避病院常備保存ノ儀朱書
ノ通及指令候條十六年度豫備金ノ内ヨリ渡
方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省同三池鑛山分局車道用地トレテ
民有地買收受領ノ儀聞届候條地種廻替等
成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

七月十二

別紙農商務省同横濱驛遞出張局横須賀分局
敷地トシテ同所民有地買收受領ノ儀聞届候條
地種組替等成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

皇起

一西ノ丸山里ノ木製假

皇居御造營被

仰出候事

但宮内省ニ煉瓦造ノ事

一吹上ノ

賢所神嘉殿御造營被

仰出候事

右御造營五ヶ年ヲ期シ落成之見込相互費額貳百
五拾萬圓ヲ目的トシ超過セサル様取調之事

一本丸ノ永世堅牢之

皇居御造營漸次取調被

仰出候事

年月日

内務省

別紙工部省同靜岡縣下遠江國周知郡森町村
西中町通第百六拾壹番番地森町電信分局敷地ト
シテ同所人民ヨリ献納候ニ自同省ノ受領ノ儀聞届
候條地種組替等成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

七月十三

七月十八日水

大起

栃木縣

二荒山神社經費別紙、通相定候條十四
年第六拾壹号達、通可心得此旨相達
候事

但十五年度ニ属スル分ハ月割ヲ以テ交付
候義ト心得、

年月日 太政大臣

七月十九日木

大藏省

別紙農商務省上請日佛兩政府ノ間ニ交換
ノ物品購求費別途下付ノ件朱書ノ通及
指令候條金額十六年度豫備金ノ内ヨリ
渡方可取計此旨相達候事

七月十四日

年月日 太政大臣

大藏省

新潟縣勸業資本金トシテ金貳萬四三
ヶ年ニ割合十七年度ハ金六千八百四十八
十九兩年度ハ金六千六百四十九年ヨリ
向フ三ヶ年据置無利子四ヶ年賦返納ノ定
メヲ以テ貸下ノ儀農商務省ヨリ伺出聞
届候條金額各年度臨時歳出雜支出雜出
ノ内ヨリ支出方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

七月二十日

陸軍省

海軍省

司法省

前右大臣岩倉具視薨去ニ付本日ヨリ三
日間死刑ヲ行フコトヲ止ム一ニ此旨相達
候事

年月日 太政大臣

七月二十日

後四位岩倉具綱

前右大臣薨去ニ付
特旨ヲ以テ葬儀御用掛ヲ置キ葬儀ニ
關スル一切ノ事務取扱被仰付候条
此旨相違候事

年月日 太政大臣

整師規則ノ義

右真院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院副議長東谷通禧殿

大藏省

別紙故前右大臣葬儀御用掛上申葬儀
ニ關スル諸費下付ノ件關屈原條金額本
年度豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此旨
相違候事

年月日 右大臣

七月廿二日
七月廿三日

七月十六

警視廳

大政大臣

七月二十一日上

整師規則ノ義

右真院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院別議長東谷通禧殿

大藏省

別紙故前右大臣葬儀御用掛上申葬儀
ニ関スル諸費下付ノ件關屈原條金額本
年度豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此旨
相違候事

年月日 右政大臣

七月廿二日
七月廿三日 月

警言 視 廳

故岩倉前右大臣葬儀来ル廿五日午前
六時出棺品川海晏寺舊境内墓地へ埋
葬相成候ニ付墓所並道筋諸取締可
致此旨相達候事

年月日 太政大臣

警 視 廳

来ル二十五日岩倉故前右大臣葬送之節
前ハ馳トシテ 巡查長四騎後押トシテ同敷騎
可差出此段相達候事

年月日 太政大臣

各通 陸 軍 省

海 軍 省

来ル廿五日故岩倉前右大臣葬儀ニ付
當日半旗ノ禮ヲ行ヒ且午前八時ヨリ相當
ノ吊砲九發ニシテ止ム施行スヘシ此旨相
達候事

年月日 太政大臣

七月二十四日 火

七月 十七

一東京大坂橫濱株式取引所ニ於テ金銀貨
定期取引ノ儀

一株式取引所仲買人納税規則第四條ノ
但書追加ノ儀

右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

右院副議長東久世通禧殿

一米商會所株式取引所仲買人犯則處分
ノ儀

一米商會所條例第十九條中刪除ノ儀

右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

右院副議長東久世通禧殿

七月廿五日 水

贈太政大臣華送 右内閣出勅

七月十八

七月二十六日 未

七月二十七日 全

各省
内務省
大藏省
別紙海軍省上請故海軍機關工上長原田
勘次外四名扶助料并一時賑恤金給與ノ

儀間届候條成規ノ通可取計以自相
違候事

年月日 太政大臣

七月二十八日 未

酒造税則中改正ノ儀
右其院議定ニ被付候事

七月十九日

年月日 太政大臣

右院副議長兼各通務殿

租稅未納者處分規則第二條中加除ノ歳
右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

右院副議長兼各通務殿

大藏省

別紙外務省上申特別留學生獨逸國ヨリ
歸朝旅費別途下付ノ件朱書ノ通及指
令候條十五年度常用在金ノ内ヲ以テ繰

合渡方取計金額可届出此旨相達候事

年月日 太政大臣

七月廿九日
七月三十日

七月二十

七月三十一日 火

岩手縣

元仙臺藩士七阪英力維新ノ際叛逆主謀ノ罪ニ依リ家名断絶申付候處特典ヲ以テ自今家名再興美許候條其旨遺族ニ達方可取計此旨相達候事

年月日

太政大臣

大藏省

別紙陸軍省再伺東京大坂西砲兵工廠

營業資金下付ノ件未書ノ通及指令原簿金額十五年度常用在在ノ内ヲ以テ渡方可取計此旨相達候事

年月日

太政大臣

大藏省

愛媛縣勸業資本トシテ金五千四百七拾五円本年度ヨリ七ヶ年据置ノ後十ヶ年賦返納ノ定ヲ以テ貸下ノ儀農商務省伺ノ趣聞届候條本年度臨時歳出雜支出中雜出ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日

太政大臣

明治十六年八月日録目次

外務省

一井上外務卿、共同運輸會社汽船購入ニ係ル外債仕拂手形、請
印ノ儀御委任状 八丁

内務省

一六藏省同府下神田區本多河岸地種畑替ノ儀 初丁

一六藏省同兵庫米庫米庫用地合上 初丁

一工部省同石川縣下七尾電信分局用地合上 初丁ウ

一工部省同糸魚川電信分局用地合上 二丁

一本省所管各集治監於テ出納スル現金六藏省ニテ管字ニ付

右費用減額ノ儀 三下ウ

一六蔵省同横濱本町ニ在ル交換地所地種組替ノ儀 八下ウ

一宮内省同崇徳院天皇御陵内所屬地所合上 九下

一農商務省同兵庫縣下神戸ニ於テ阿利權樹栽培地合上 十一下

一工部省同函館縣下壽都電信分局用地合上 十一下

一農商務省同金澤郵便局敷地合上 十一下ウ

一工部省同郡山電信分局用地合上 十一下ウ

一宮内省同京都府下葛野郡後津院天皇御火葬北城園

込地合上 十三下ウ

一海軍省上請三等兵曹敷坂清太郎退還料給與ノ儀 十四下

一工部省同小坂鑛山分局坑場外三ヶ所官有地々種組替ノ儀 十五下

一六蔵省同名古屋區租稅局出張所建設用地合上 十七下ウ

一農商務省同府下深川平久町同省物品置場用地合上 二十下ウ

一工部省同靜岡縣下清水電信分局敷地合上 二十下ウ

一本省技術等級表ノ月給表、但書追加ノ儀 二十二下ウ

大 蔵 省

一司法省同官金棄捐ニ係ル分受渡方ノ儀 初下ウ

一農商務省同北海道事業諸費ノ内増額金渡方ノ儀 二下

一工部省同関ヶ原大垣間鐵道布設費合上 六下ウ

一内務省同米國商船難破ニ係ル諸費安堵金合上 十下

陸軍省同十五年度經費殘金大坂砲兵工廠及射炉増築費、
使用に及渡方ノ儀 十丁ウ

工部省同兵庫工作分局修船架新築費渡方ノ儀 十二丁ウ

農商務省同米國波士敦府博覧會經費全上 十三丁ウ

海軍省上請三等兵曹坂清太郎退港料給與ノ儀 十四丁

帝室御用度金増加ノ儀 十五丁ウ

外務省上申請國芝罘、領事派遣費渡方ノ儀 十七丁

内務省同圖書局文庫付屬事務所修築費受渡方ノ儀 十八丁

外務省同獨乙聯邦メックレンブルヒ國上公三男チヨニアルヘルト

殿下來航接待諸費渡方ノ儀 十八丁ウ

内務省同松尾神社異変諸費全上 十九丁

内務省同滋賀縣中保拾得金領置中紛失ノ分全上 十九丁ウ

内務省同手當金全上 二十丁

農商務省同東京府レース教場資金全上 二十二丁ウ

内務省同神奈川縣揮發物貯藏庫模倣材料費用全上 二十三丁

内務省同揮發物貯藏庫増築費全上 二十三丁

陸軍省

陸軍武官結婚條例第三條改正ノ儀 二十二丁

海軍省

本省於、出納ノ、現金大藏省ニ管守、其右費用減額

儀 四丁

一本省中教官ヲ置キ名稱等級俸給被定ノ儀 十七丁ウ

文 部 省

一 文部卿、學習院、自今官内卿監督可致旨御沙汰ノ儀 八丁

工 部 省

一 大垣より高寄より韓線、鋪道布設方内法、其線路、撰定地形

測量具他ノ儀 七丁

一 内務省、電報北電會社、氣象電信受送、無稅通報ノ儀 九丁ウ

司 法 省

一 陸軍、恩給令ニ依リ、恩給及扶助料ヲ有ル者、公權利棄ル處分ニ為

一時宣告ノ際、寫帖、收棄等ノ儀 三丁

官 内 省

一本省於テ出納ハ、現金大藏省ニ管守ニ付、幣用減額ノ儀 四丁

一 故名和長年、贈位ノ儀 五丁

一 故菊池武時、同上 五丁ウ

一 故結城宗廣、同上 五丁ウ

一 故脇屋義助、同上 五丁ウ

一 官内卿、學習院監督ノ儀 七丁ウ

元 老 院

一 東京大坂横濱株式取引所、於テ金銀貸定明取引及株式取引

所仲買之納稅規則第四條、但書追加、儀布告後檢視 五丁

府 縣

一東京府、故殿屋義助、贈位、新田俊純、殿屋三郎、遠方

ノ儀 六丁

一兵庫縣、故見島範長、贈位、遠方ノ儀 六丁

一因山縣、故見島高德、全上 六丁

一廣島縣、故櫻山茲俊、全上 六丁

一栃木縣、故藤原秀郷、全上 六丁

一東京府、故見島範長、同高德、贈位、廿三宅康寧、遠

方ノ儀 五丁

一新潟縣、元村上藩士之島居三十郎家名再興被差許、

儀 十六丁

一福島縣、元會津藩士之菅野権兵衛始三名全上 十六丁

明治十六年
八月一日

内務省

別紙大藏省同東京府下神田區本多
河岸於七号官有地受領、儀間屋原
條地種組換等成規、通可再計此旨
相違原事

年月日 大臣

内務省

別紙大藏省同兵庫縣東原接續民有地
買上圖込、儀間屋原條地種組替等

成規ノ通可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙司法省同官金葉捐ノ件朱書ノ
通及指令係條本年度ニ於テ受渡方可
取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省伺石川縣下能登國鹿島郡
七尾府中印鑰神社前官有地八十壹坪
七尾電信分局用地トシテ受領、義間届

候條地種組替等成規、通可取計此旨
相違候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省伺糸魚川電信分局地所受
領致度義間届候條地種組替等成規、
通可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙農商務省上申北海道事業諸費
ノ内十五年度豫算増額ノ件間届候條

金額同年度常用在金ノ内ヲ以テ渡方可
取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

八月二日 本

八月三日 全

司法省

陸軍恩給令ニ依リ恩給ヲ有スル者及扶
助料ヲ受クル寡婦孤児罪ヲ犯シ公權剝
奪ノ處分ヲ為ス時ハ其裁判宣告ノ際恩
給登録寫帖ヲ收奪シ宣告文ノ寫相添其
省ヨリ内務省へ交付可致此旨相達候
事

年月日

太政大臣

八月四日 土

大起

内務省

其省所管各集治監ニ於テ出納スヘキ現金大蔵省ニ於テ管守候ニ付テハ右ニ係ル費用十五十六兩年度各監經費中各年度左ノ通減額候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

一金貳百四拾圓

東京集治監

一金百五拾圓

宮城集治監

一金六百圓

樺戸集治監

一金六百圓

空知集治監

一金九拾圓

十五年度

三池集治監

一金三百六拾圓

十六年度

大起

海軍省

其省ニ於テ出納スヘキ現金大蔵省ニ於テ管守候ニ付テハ右ニ係ル費用十五年度以降据置定額中年額左ノ通減額候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

一金千貳百圓
一金千五拾八圓

十五年度
十六年度以降

官 内 省

其省ニ於テ出納スヘキ現金大蔵省ニ於テ管守候
ニ付テハ右ニ係ル費用十六年度以降据置定額
中年額金六百五拾五圓減額候條此旨相達候事
年月日 太政大臣

八月五日
八月六日

一東京大坂横濱株式取引所ニ於テ金銀貨定期取
引ノ儀

一株式取引所仲買人納税規則第四條ハ但書追加
ノ儀

右便宜布告ノ後其院檢視ニ被付候事
年月日 太政大臣

元老院副議長東久世通禧殿

馬起
官 内 省

八 月 五

故從四位下源朝臣長年、特旨ヲ以テ被贈從三位候條此旨

年月日 太政大臣

宮内省

故菊池武時、特旨ヲ以テ被贈從三位候條此旨
相達候事

年月日 太政大臣

宮内省

故結城宗廣、特旨ヲ以テ被贈從四位候條此旨
相達候事

年月日 太政大臣

宮内省

故正五位下源朝臣義助、特旨ヲ以テ被贈從三位候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

東京府

故正五位下源朝臣義助、別紙寫、通特旨ヲ以テ
贈位宣下相成候條其旨新田俊統陸脇谷三郎、
為心得達方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

故從四位下源朝臣長年、特旨、以、被贈從三位候條此旨
位候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

宮内省

故菊池武時、特旨、以、被贈從三位候條此旨

相達候事 年月日 太政大臣

意以、別紙、下、相、指、此、旨、相、達、候、事

願、此、旨、不、臥、候、新、到、其、旨、深、因、別、紙、願、此、旨、

此、旨、正、位、不、臥、候、時、自、奉、由、一、傳、此、旨、由、國、部、司、以、

故、結、城、宗、廣、一、特、旨、以、東、照、贈、京、四位、前、條、此、旨、

相、達、候、事

年月日 太政大臣

此、新、到、地、旨、臥、到、新、事

此、旨、正、位、不、臥、候、時、自、奉、由、一、傳、此、旨、由、國、部、司、以、

新 到 府

故、正、位、下、源、朝、臣、義、助、一、別、紙、之、通、特、旨、以、

贈、從、位、下、相、成、候、條、達、方、可、取、計、此、旨、相、達、候、

事

年月日 太政大臣

兵 庫 縣

其、縣、下、故、兒、嶋、範、長、一、別、紙、之、通、特、旨、以、

宣、下、相、成、候、條、達、方、可、取、計、此、旨、相、達、候、事

年月日 太政大臣

八月 六

岡 山 縣

其縣下故兒嶋高德、以下同文

年月日 太政大臣

廣 嶋 縣

其縣下故櫻山茲俊、以下同文

年月日

朽 木 縣

其縣下故後四位下藤原朝臣秀郷、以下同文

年月日 太政大臣

大 藏 省

別紙工部省伺測ヶ原大垣間鑛道布設ノ

件朱書ノ通及指令候條本年度ニ屬スル
金額ハ豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達
候事

年月日

太政大臣

工 部 省

大垣ヨリ高崎迄幹線鐵道布設ノ儀内決
相成候條先以線路撰定地形測量ノ義早々
着手シ其方案等委詳具狀致スヘク候尤
該費用等ノ義ハ追テ何分ノ詮議ニ可及義ニ
候條古測量等ノ費用ハ其省經費定額内
ヲ以差繰支辨候義ト相心得尚差支候節

ハ更ニ伺出ヘシ此旨相達候事

年月日

太政大臣

八月七日火

局起

宮内卿

學習院之儀ハ専ラ華族ヲ教育スルノ学校ニシテ普通ノ学校ト同シカラサルニ因リ自今特別宮内卿ニ於テ監督可致事

右之通

御沙汰候事

年月日 太政大臣

文部卿

學習院ノ儀ハ從前文部卿ニ於テ直接指揮致候處該院ハ専ラ華族ヲ教育スルノ学校ニシテ普通ノ学校ト同シカラサルニ因リ自今特別宮内卿ニ於テ監督可致旨被仰出候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

外務卿井上馨

八月八

共同運輸會社汽船購入資金トモ利息トモ貳拾萬五千磅
ノ私債ヲ英倫ニ於テ相約候ニ付テハ日本政府ニ於テ該仕拂手形ニ
調印アラントテ農商務卿ヨリ稟請シタルニ付則其稟請ヲ許可シ左ノ
權限ヲ以テ該債ヲ約スル英國ニ駐劄ノ公使、日本政府ノ為メ該手形ニ
調印セシムルノ權ヲ可致委任事

年月日 太政大臣

共同運輸會社々長ヨリ明治十八年(千八百八十五年)
六月拂利息共貳拾萬五千磅ノ手形仕拂ノ承諾
ヲ調印スル事

内務省

別紙大藏省伺横濱本町ニ在ル同省用地返

付更ニ同所野毛町官有地受領ノ儀聞届
候條地種組換等成規ノ通可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省伺崇徳院天皇御陵内狹隘ニ付
取廣ノ為ノ同所ニ在ル官林受領ノ義聞届候
條地種組換等成規ノ通可取計此旨相達
候事

年月日 太政大臣

八月八日

工部省

別紙内務省稟申北電會社氣象電信
受送無税ノ儀間屆候條無税通報可取
計此旨相達候事

年月日 太政大臣

八月九日

大藏省

別紙内務省伺米國高船難破ニ係ル諸
費要償棄權ノ件朱書ノ通及指令候條
金額十五年府縣雜費ノ内ヨリ渡方
可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

八月十日

八月十日 金

大藏省

別紙陸軍省同十五年度經費定額殘金
大坂砲兵工廠反射爐増築費一使用ノ件
聞届候條金額受渡方可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

内務省

別紙農商務省上請阿利襪樹栽培地トシ
テ兵庫縣下神戸區山本通二丁目民有地
買收受領ノ儀聞届候條地種組替等成規
ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省同函館縣下後志國壽都郡
壽都渡島町拾八番官有地同所電信分局
敷地トシテ受領ノ儀聞届候條地種組替
等成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙農商務省伺石川縣下加賀國金澤
郵便局敷地狹隘ニ付同所博勞町拾四番
民有地買收ノ義開届候條地種組替等
成規ノ通可取計此右相違候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省伺郡山電信分局用地トシテ
福島縣下岩代國安積郡八山村字本町
廿二番民有地ノ内六拾九坪買收ノ儀開
届候條地種組替等制規ノ通可取計此
右相違候事

年月日 太政大臣

八月十一日 土

八月十二日 日

十二

八月十三日 月

大藏省

別紙工部省同兵庫工部局修船架
新築再興ノ件未書ノ通及指令候條
金額受渡方可取計此可相違候事

年月日 太政大臣

八月十四日 火

八月十五日 水

八月十六日 木

八月十三

大藏省

別紙農高務省上申米國波士敦府博覽會經費ノ件聞届候條金額十六年度豫備金ノ内ヨリ支出シ時價ヲ以銀貨ニ交換ノ上渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省伺京都府下山城國葛野郡小北山村字オヤシキ後朱雀院天皇御火葬所北域地トシテ官有地圍込并民有地買收ノ義聞届候條地種組替等成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省 各省

別紙海軍省上請海軍三等兵曹敷坂清太郎退隠料給與ノ儀聞届候條成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

八月十七日 全

八月十八日 土

八月十九日 日
八月二十日 月

東京府

故見島範長同高德一別紙寫一通持旨
ヲ以テ贈返宣下相成原條其旨從五位
三宅康寧一為心得達方可取計此旨
相違候事

年月日 右政大臣

八月十五

八月廿一日火

内務省

別紙工部省伺秋田縣下陸中國鹿角郡山坂
鑛山分局坑場外三ヶ所官有地合及別百五拾
六町八反貳畝拾貳步六合今般談省用地トシテ
受領ノ義聞届候條地種紐換等成規ノ通可
取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

帝室御用度金九萬五千円別途増加ノ義

大藏省

宮内卿上申ノ趣別紙之通及指令候条右金
額本年度豫備金ノ内ヨリ支出方可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

新瀨縣

元村工藩士止鳥居三平郎維新ノ際叛逆ニ謀ノ罪
ニ依リ家名斷絶申付候處特典ヲ以テ自今家名
再興差許准条其旨遺族、達方可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

福島縣

元會津藩士止 萱野權兵衛

今 田中土佐

左 神保内藏助

右ノ者共維新ノ際叛逆主謀ノ罪ニ依リ家名斷
絶申付准後特典ヲ以テ自今家名面興差許候
奈其旨遺族、達方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

八月廿二日 水

大 藏 省

別紙外務省再上申清國芝罘、領事派遣ノ
件朱書ノ通及指令候條計算内譯調査ノ
上金額本年度豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此
旨相達候事

年月日 太政大臣

八月廿三日 木

八月 十七

八月廿四日 金

海軍省

其省中教官ヲ置キ其名稱等級俸給別表、通相定候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙大藏省伺愛知縣附屬植物支園地ノ内名古屋區栄町七丁目九番地并南久屋

町四丁目壹番地合坪四百四拾六坪五合九勺今般租稅局出張所建設用地トシテ買取受領ノ義聞届候條地種組換等例規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

八月廿五日 土

大藏省

別紙内務省伺圖書局文庫付属事務
所等建築ノ儀朱書ノ通及指令候條金
額受渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙外務省上申獨逸聯邦メツクレンブルヒ
國上公ノ三男子ヨシ・アルヘルト殿下來航接
待諸費別途下付ノ件關屈原條金額十
六年度豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此
旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省伺松尾神社異変諸費下
渡ノ件關屈原條十五年度神社遷宮
諸費ノ内ヨリ金貳百三拾五円五拾貳
錢該社經費ノ増額トシテ支出方可取
計此旨相達候事

年月日 太政大臣

八月廿六日

八月十九日

八月廿七日 月

八月二十八日 火

大藏省

別紙内務省稟申滋賀縣申保拾得金銀
置申紛失七之分別途下付ノ件并書ノ通
及指令原條金額本年度府縣雜費ノ
内ヨリ渡方可取計此旨相違取事

年月日 大政大臣

大藏省

別紙内務省同手當金ノ儀同届原條金
額十六年度府縣雜費ノ渡方可取計
此旨相違取事

年月日 大政大臣

八月二十九日 水

月二十

内務省
別紙農商務省上請當府下深川區深川
平久町貳丁目壹番地ノ内第一彌地坪千
百坪同省物品置場トシテ受領ノ義聞
届候條地種組替等成規ノ通可取計此
旨相違候事

年月日 太政大臣

内務省
別紙工部省伺靜岡縣下清水電信分局敷
地需用ニ付民有地買上ノ件聞届候條地
種組替等成規ノ通可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

八月三十日

取消

八月三十一

年月日 太政大臣

八月三十一日 金

内務省

本年五月第貳拾号達其省技術等級并月給表一左ノ通但書追加候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

但便宜ニ依リ技師補ヲ置テ得無等判任官ニシテ三十拾圓ヨリ八十拾圓ニテノ月俸ヲ給ス

陸軍省

陸軍武官結婚條例第三條但以下左ノ通改正候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

但憲兵并會計軍医馬医軍樂部ノ下士卒徴兵令ニ依リ徴集シ及ヒ砲兵者護工兵者護ニ在テハ常備服役中ト雖モ所管長官ノ許可ヲ得テ結婚スルヲ得

八月二十二

大藏省

東京府レ一ス教場資金トシテ金貳萬五
千四十六年度ヨリ五ヶ年ニ割合年々金
五千四ツ・来ルニ廿二年六月迄据置同
年七月ヨリ向フ四ヶ年賦無利子返納
ノ定ヲ以テ賦下ノ儀農商務省ヨリ同
出テ關屈原尤モ右金額ノ内本年度
ニ属スル分ハ同省勸業委託金ヨリ可
支出答々付録ハ毎年度臨時歳出雜支
出中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨
相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省同神奈川縣揮發物貯藏
庫模様替費用ノ儀關屈原俸金額本
年度豫備金ノ内ヨリ支出スレシ此旨
相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省同揮發物貯藏庫増築ノ儀關屈
候條金額本年度豫備金ノ内ヲ以テ渡方
可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

明治十六年九月日録目次

太政官

一賞勲局、佛國人ウエルカステル勲位改叙ノ儀 五丁

外務省

一西班牙國皇帝ノ皇妹婚姻ノ報對スル御答書 初丁

一保太利國皇帝ノ従兄弟婚姻ノ旨上 十九丁

内務省

一海軍省上請横須賀福岡所民有地々種但替ノ儀 初丁

一海軍省上請故水兵工長中村歳次郎外三名遺族扶助料ノ儀 一
時賑恤金給與ノ儀 二丁

朝鮮國蔚陵島ニ於テ伐木漁採者取締ノ為メ警部巡查派遣等ノ儀 五下ウ

一海軍省上請赤羽田工作分局敷地組換ノ儀 八下

一六藏省同租税局福井出張所移轉地令上 八下ウ

一六藏省同造幣局用地令上 九下

一海軍省上請浦賀水兵練習所火藥庫建築地令上 十四下

一陵掌陵下墓掌墓下及守下宮内省ニ被屬ノ儀 十四下ウ

一神宮奏任以上ヲ教導職六級以上京都御所、新年奉賀被差許等ノ儀 十五下

一京都府桂宮別邸離宮ト被定取付地種組替等ノ儀 十五下

一賀茂男山西祭田儀御再興ノ儀 十六下

一六藏省同租税局函館出張所青森派出所敷地々種組替ノ儀 十八下ウ

一司法省同伏見治安裁判所敷地令上 二十下

大 藏 省

一海軍省上請水兵工長中村幾次郎外三名遺族扶助料並一時賑恤金給與ノ儀 二十下

一農商務省同米國華盛頓スミソニヤン博物館交換品購求費渡

方ノ儀 二十下

一工部省同品川工作分局營業費本尺額補填金令上 二十下

一元老院同議官俸給不足額金上 三下

一農商務省同秋田縣勸業資本金金上 三下

一官内省同有栖川宮邸宇建築費ノ内銀貸交換ノ儀 三下

一官内省同沖繩縣共進會費渡方ノ儀 五下

一内務省同高知縣属官俸給金上 七下

一農商務省同蝗虫採卵費金上 七下

一農商務省同靜岡縣勸業資本金金上 九下

一内務省同小笠原島内母島事務所新築費金上 九下

一十五年度勳章賞牌賜金増額金大改官渡方ノ儀 十下

一内務省同在府縣獄囚徒費増額金受渡方ノ儀 十二下

一内務省同揮發物貯庫増設費渡方ノ儀 十二下

一内務省同船舶検査費金上 十二下

一農商務省同利根製糖洲産動物購求代價正貸交換方ノ儀 十二下

一太政官々舎買入代渡方ノ儀 十二下

一陵掌陵下墓堂墓下又守丁官内省被属ノ儀 十四下

一内務省上申朝鮮國蔚陵島官吏出張ノ儀 別途金渡方ノ儀 十六下

一内務省同宮城縣下道路運河開墾費國庫御補助金金上 十七下

一農商務省同埼玉縣士族就產資金令上 十八丁

一農商務省同北海道小樽外四港より該道物産海外、直灣

等ノ儀 十九丁

一海軍省同長寄縣下墳墓令葬費年度更訂等ノ儀 二十丁

一外務省上申外國人接對所建築築費受渡方ノ儀 二十一丁

海軍省

一海軍下士以下懲罰則中改正ノ儀 二十二丁

農商務省

一朝鮮國仁川港、郵船定期往復及航海費等ノ儀 二十三丁

宮内省

一陵堂浸下墓堂墓下及宇下本省、被屬ノ儀 二十四丁

一賀茂男山兩祭田儀御再興ノ儀 二十五丁

一獨乙聯邦タルニテ國上公三男ニヨナルハト殿下叙勳ノ儀親授

式執行ノ儀 二十七丁

一獨乙國者魯士國特命全權公使令上 二十七丁

元老院

一熊本始審裁判所管内内牧活安裁判所移轉ノ儀布告後檢

視 四丁

一重罪裁判所管轄區劃改正ノ儀令上 四丁

府縣

一京都府、賀茂男山而祭田儀御再興ノ儀 十六丁

大抵
政理
字

明治十六年
九月一日 土曜

九月二日
九月三日 月

内務省

別紙海軍省上請神素川縣下横須賀
福岡町ニ於テ、同省用地トシテ民有地

買上并 接續ノ崖地道路敷地共圍込
受領ノ儀 閣下 原條地種 組替等 例規
ノ通可 取計 此旨 相違 候事

年月日 太政大臣

至尊至隆ナル親友

西班牙國等ノ皇帝アルホンス第十二世
陛下ニ復ス

貴皇帝陛下親愛ノ皇妹ドナマリアドラパ
ーズ殿下ト 最愛ノ従兄弟バビエル國皇
族ルイ、フェルヂナン殿下ト 一千八百八十
三年四月二日マドリッド府宮殿ニ於テ婚姻

ノ慶典ヲ舉行セラレシ旨 同月十四日附親
書ヲ以テ 報知セラレタリ 朕此ノ慶典ヲ聞
キ 欣喜ノ至リニ堪ハズ 茲ニ 皇妹ノ福祥ヲ
慶賀ニ併テ 陛下及皇族ノ安寧幸福ヲ祈ル
明治十六年九月三日東京宮中ニ於テ

陛下ノ良友

御名

天皇
御再至

九月四日火

各通 内務省

別紙海軍省上請故海軍水兵長中村幾次郎外三名遺族扶助料并一時賑恤金等給典ノ儀聞届候條成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙農商務省上請米國華盛頓「スミソニ

「博物館交換品購求費別途下付ノ件聞届候條金額本年度豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙工部省伺品川工作分局營業資本關額補填請求ノ件聞届候條金額十五年度常用在金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙元老院上申議官俸給不足額請求
ノ件聞届候條金額本年度豫備金ノ内
ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

秋田縣勸業資金トシテ金四萬六千圓十五年度以降
三ヶ年ニ割合貸下ノ義ニ付本年二月ニ付相達置候
處改テ本年度ヨリ三ヶ年間ニ貸下ノ義農商務省ヨリ
開申出届候条金額等總テ家前^達通相心
得支出方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙宮内省上申有栖川宮邸宅建築費

ノ内紙帶ト銀貨交換ノ件朱書ノ通
及指令候條時價交換方可取計此
旨相達候事

年月日 太政大臣

九月六日 木

九月 四

別紙元老院上申議官俸給不足額請求
ノ件聞届候條金額本年度豫備金ノ内
ヨリ渡方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

別紙
海軍省
文部省
陸軍省
農商務省
大藏省
内務省
外務省
司法省
文部省
陸軍省
農商務省
大藏省
内務省
外務省
司法省

九月五日水

大藏省
別紙宮内省上申有栖川宮邸宅建築費

ノ内紙幣ト銀貨交換ノ件朱書ノ通
及指令候條時價交換方可取計此
旨相達候事
年月日 太政大臣

九月六日木

九月四

九月七日金

司起

熊本昭審裁判所管内内牧治安裁判所
移轉ノ儀

右便宜布告、後其院檢視、被付候事

年月日 太政大臣

元老院副議長東久世通禧殿

司起

重罪裁判所管轄區劃改正ノ儀

右便宜布告、後其院檢視、被付候事

年月日 太政大臣

元老院副議長東久世通禧殿

大藏省

別紙農商務省上申沖繩縣ヨリ共進會費
請求ノ件朱書ノ通及指令候條金額本
年度豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此旨
相違候事

年月日 太政大臣

賞勳局

本年五月中議定上奏先裁相成候佛國人

口ビエーバリエー、グエルカステル、叙勳ノ儀更
ニ外務卿申牒ノ趣ニ依リ兩人共勳五等ニ改

叙被仰出候條諸事可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

九月八日 土

外起
朝鮮國蔚陵島近來御國人多入數渡
航伐木澳採從事候趣不都合ノ次
第ニ有之山口縣下ノ者ハ該縣ヨリ追
内務省

召還方處分中ニ候處他ニ原籍不分明
ノ者モ不少哉ニ相聞候條其省ニ於テ取
締ノ為メ速ニ警部巡查ヲ派遣シ無洩
召連レ歸國セシメ候様外務省ハ協議ノ
上適宜可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

九月九日 日
九月十日 月

九月 六

九月十一日火

九月十二日水

九月十三日木

九月十四日金

別紙内務省印伺高知縣屬官俸給
大藏省

件朱書ノ通及指令候修金額十五年度
ハ常用在金十六年度ハ豫備金ノ内ヨリ
渡方可取計此旨相違候事
年月日 太政大臣

大藏省

別紙農務省上申蝗虫採卵費一時
及渡ノ件朱書ノ通及指令候條金壹
萬圓渡方可取計此旨相違候事
年月日 太政大臣

九月十五日 壬

九月十六日 日
九月十七日 月

内務省

別紙海軍省上請赤羽根舊工作分

局敷地ヲ同省官用地ニ組替ノ義聞
届候條地種組換等成規ノ通可取計
此旨相達候事
年月日 太政大臣

内務省

別紙大藏省伺租税局福井出張所移轉
ニ付同省用地トシテ民有地買收ノ件聞届候
條地種組替等成規ノ通可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙大藏省伺造幣局へ接續セシ民
有地同省用地トシテ買收ノ件聞届候
條地種組換等成規ノ通可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

九月十八日 火

九月九

大藏省

静岡縣勸業資本トシテ金千貳百円
十六年度ヨリ無利息三ヶ年^間据置来ル
十九年七月ヨリ四ヶ年賦返納ノ定メラ
以テ貸下ノ儀農商務省ヨリ伺出聞
届候條金額臨時歳出雜支出中雜
出ノ内ヨリ支出方可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

別紙由縁有^大蔵省
事務新築費ノ義聞届候條
年度豫備金ノ内ヨリ支出可取計此

旨相達候事

年月日 太政大臣

局起

^大蔵省

十五年度勲章賞牌賜金費増額トシテ
金九百四拾九圓七錢五厘該年度常用
在^金ノ内ヨリ太政官へ渡方可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

九月十九日水

海軍省

海軍下士以下懲罰則中左ノ通改正
候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

第二條一項 艦船管長ノ上ニ(海軍各所

管ノ長タル將校准將校并ニ)ノ十六字
ヲ加フ

第四條二項以下ヲ左ノ如ク改ム

禁錮ハ艦船管内ニ在テハ其檻牢又ハ

一室内若クハ帆布圍内ニ於テ之ヲ行フ
但時宜ニ依リ海軍監獄ノ禁錮場ニ
錮スルコトヲ得

艦船管外ニ在テハ海軍監獄ノ禁錮
場ニ於テ之ヲ行フ其禁錮場ニ於テス
ルモノ、取扱ハ總テ獄則ニ從フ

第五條 禁錮ノ上ニ(艦船管内ニ在テハ)ノ八
字ヲ加ヘ過クル片ハノ下ニ(艦船管内ノ)

ノ五字ヲ(其)ニ改ム

第六條 禁錮ノ上ニ(艦船管内ノ)ノ五字ヲ加

第七條 禁錮ノ上ニ(艦船管内ノ)ノ五字ヲ加

九月十一

第八條 禁錮限内ハノ下(艦船營長若ク

ハ長官)ノ九字ヲ(其所管ノ長タル將校

准將校若クハ艦船營長)ノ十九字ニ改ム

第十二條二項 謹慎ハ艦船營ノ下(若クハ

屯集所)ノ六字ヲ(屯集所或ハ自宅若クハ

官廨)ノ十二字ニ改メ艦船營ノ下(内若

クハ屯集所)ノ七字ヲ(屯集所若クハ官

廨)ノ八字ニ改ム

第十九條 記載シタル外ノ下艦船營ノ上ニ

(海軍所管ノ規則或ハ)ノ九字ヲ加フ

別紙内務省稟申 大 蔵 省 在 府 縣 獄 囚

徒費額ノ儀 閣 届 候 條 金 額 受 渡

方可取計 此旨相達 候 事

年月日 太政大臣

別紙内務省 大 蔵 省 同 揮 覆 物 貯 庫 増 設 ノ 儀 閣

届 候 條 金 額 本 年 度 豫 備 金 ノ 内 ヲ リ 渡

方可取計 此旨相達 候 事

年月日 太政大臣

別紙内務省 大 蔵 省 同 船 舶 檢 査 費 下 渡 ノ 件 閣

届 候 條 金 額 本 年 度 豫 備 金 ノ 内 ヲ リ 渡

九月 十二

方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

年月日 太政

別紙農高務者同制製衣灣洲
産物購求代價正身交換ノ
件朱書、通及指令候條交換方可
取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

大藏省

官舎買入代トシテ金拾萬圓ヲ目途トシ
差向キ金三萬五千圓本年度豫備金ノ

内ヨリ太政官へ渡方可取計此旨相達候事

但殘額ノ儀ハ同官ヨリ通知次第渡方取
計ヘシ

年月日 太政大臣

九月二十日 木

九月廿一日 金

外起

農商務省

其省於前神戶ヨリ赤間関長崎五島對馬ヲ經テ朝鮮國釜山港へ通航為致居候郵船ヲ以テ更ニ毎月毎季除キ一回同國仁川港へ定期往復ヲ為サシムヘク右航海補助費トシテ每航金八百圓下付スヘク候條右航路開始ノ期月早々取調可申出此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙海軍省上請相州三浦郡字細田小林ノ外壹名所有民有地浦賀水兵練習所火藥庫建築、為、購買、儀、閉、届、候、條、地、種、組、換、等、成、規、ノ、通、可、取、計、此、旨、相、達、候、事

年月日 太政大臣

九月廿二日 土

宮起

陵掌陵下墓掌墓下及守下自今其省
被属候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

宮起

陵掌陵下墓掌墓下及守下自今宮内
省被属候條為心得此旨相達候事

年月日 太政大臣

宮起

陵掌陵下墓掌墓下及守下自今宮内
省被属候條為心得此旨相達候事

年月日 太政大臣

宮起

内務省

神官奏任以上并教導職六級已上ニテ京都
東京兩府下在勤若クハ出張ノ者ヲ除クノ外
ハ新年賀表可差出之處明治十七年一月ヨリ
各自ノ便宜ニ依リ京都御所へ参上拜賀申
上不苦候條神官并教導職へ可相達此旨
相達候事

但京都御所へ参上不致片ハ賀表差出方從

前之通タルハキ事

年月日 太政大臣

九月 十五

宮起

京都府下山城國葛野郡下桂村七百八十
九番地桂宮別邸ヲ以テ離宮ト被定永ク
御保存被仰出候ニ付右地所壹万千
八百拾六坪官有地茅一種皇宮地ニ編入
之儀可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

宮起

賀茂男山兩祭舊儀御再興被仰出候條
其省ニ諸事可取扱此旨相達候事
年月日 太政大臣

宮起

賀茂男山兩祭舊儀御再興被仰出候條
同社神官ニ達方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

宮起

賀茂男山兩祭舊儀御再興被仰出候條為
心得相達候事
年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省上申朝辭國蘇陵
島同省官吏出張ニ付別途下金

ノ件 尚届候條 金額本年 度豫
備金ノ内ヨリ 渡方可取 計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

九月廿三日 日
九月廿四日 月

宮内省

獨逸聯邦メツクレンブルヒ國上公等三子
ジョンアルベルト殿下勲一等ニ可被叙ニ
付来ル二十六日 親授式執行可致此旨
相達候事

年月日 太政大臣

宮内省

獨逸帝國普魯士國特命全權公使
グラーフフォンデンホッフライヘルフォンクラ
フト勲一等ニ可被叙ニ付来ル二十六日 親
授式執行可致此旨相達候事

年月日 太政大臣

九月十七

大藏省
別紙内務省伺宮城縣下道路運河開築
費國庫御補助ノ件
届候條本年
度支出係ル金額三千五百六拾六圓六拾六錢
七厘豫備金ノ内ヨリ渡方可取計此首相
達候事

年月日 太政大臣

九月廿五日 火

大藏省
埼玉縣士族就立陸資金トシテ金
貳千五百圓本年年度ヨリ未ル十九
年六月迄四年賦返納定メテ以テ
貸下ノ儀農工商務省ヨリ上申ニ付
届候條金額本年年臨時歳出
雜支出中雜出ノ内ヨリ支出方可取
計此首相達候事

年月日 太政大臣

九月廿七日 木

九月十八

九月廿八日金

内務省

別紙大藏省同祖祝局函館出張所青森派出所敷地トシテ同所濱町民有地買收受領ノ儀間屆候條地種租替等成規ノ通可取計此旨相違儀事

年月日 太政大臣

至尊至強ナル

朕カ良兄弟且良友

伊太利國皇帝ウンベルト第一世陛下ニ復ス

貴皇帝陛下最愛ノ從兄弟且義兄弟ナル

伊國皇族トウマス、アルベルト、ビクトール、ド、サボワ、

ジエク、ド、ゼーヌ殿下トバビエール國故フランス、アグ

ルベルト、ド、バビエール及フランス、アメリカ、ド、バビ

エール之皇女フランセツス、マリ、イザベール、ルキス、

マリ、エルビール、フランス、エレーノール、ド、バビエ

ール殿下ト四月十四日バビエール國ナンブール

宮殿ニ於テ婚姻ノ慶典ヲ挙行セラレシ旨同

月廿日附親書ヲ以テ報知セラレタリ朕此ノ慶

典ヲ聞キ欣喜ノ至リニ堪ヘス茲ニ兩殿下ノ福

九月十九日

祥ヲ慶賀シ併テ陛下及皇族ノ安寧幸福ヲ
祈ル

明治十六年九月廿八日東京宮中ニ於テ

陛下ノ良兄弟及良友

御名

天皇
御璽

別紙農工商務省同北海道小樽外
四港ヨリ該道物産海外直漕ノ件
朱書ノ通及指令候條税金徴收
向等總テ不都合無之様可取計此

旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙司法省伺伏見治安裁判所敷地
トシテ京都府山城國紀伊郡東濱南町
民有地買收ノ義聞届候條地種組換
等成規ノ通可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

九月廿九日土

大藏省

別紙海軍省上請長崎縣下墳墓合葬
費年度更訂ノ件前届候條金額本年
度豫備金ノ内ヲ渡方可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙外務省上申外國人接對所建
築費ノ件朱書ノ通及指令候條金

額受渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

九月三十日

九月 三十一

明治十六年十月日録目次

外務省

井上外務卿在澳國維也納府大學博士スタイシニ任入儀内達九丁

内務省

工部省同熱海電信分局敷地々種組替儀初丁

陸軍省同廣島城内士族邸地合上二丁

司法省同福井始審裁判所敷地合上二丁

工部省同山形縣下西置賜郡小出村電信分局敷地合上三丁

府下駒所區永田所二丁目十二番地太政官官用地合上三丁

海軍省上請相州三浦郡格々谷同省官用地合上四丁

一宮内省申京都泉涌寺旧境内御陵墓附属地令上 五丁

一大師佛國師號賜其内規 七丁ウ

一陸軍省同栃木縣下宇都宮銃兵作業場用地之種租換ノ儀 十丁ウ

一電信分局及海底線陸揚庫用地之當分工部省限處分ノ儀 十丁ウ

一司法省同大館治安裁判所敷地之種租替ノ儀 十丁ウ

一司法省同五所河原治安裁判所敷地令上 十丁ウ

一中仙道鑄道布設等工部省ノ違ノ儀 十九丁ウ

一工部省同兵庫縣下神戸區東出町石炭蓄藏場用地之種租替

ノ儀 十九丁ウ

大 藏 省

一朝鮮國仁川港定期郵船通航費渡方ノ儀 二丁

一内務省同貯物貯置中込失^ニシ^ル辨償金令上 三丁

一内務省同官有烟地^ノ屬^ル水門修繕費令上 五丁ウ

一内^務省^兩省^連署^同根室縣^下付^ノ汽船費令上 六丁ウ

一農商務省同蝗蟲驅除費令上 七丁

一農商務省同山形縣製塩會社資金令上 八丁

一司法省同紛失^ル棄捐金令上 八丁ウ

一内務省同製藥場廢城購求代銀貸交換方ノ儀 九丁

一司法省同旧今治藩赤武田降輔外ハ右復祿^ノ儀 十一丁

一文部省同東京府脚氣病院殘金ノ内同省引受ノ分渡方ノ儀 十二丁

一太政官御用掛今村和郎歐洲滞在費時價交換方儀 十二丁

一内務省同麻尾島縣申謀毒蛇撲殺費渡方儀 十二丁

一農商務省同青森縣士族織業補助金全上 十二丁ウ

一外務省上申朝鮮國京城公使館家屋購水費全上 十三丁

一内務省上申西南ノ役警備ニ係事セシ者ノ賞典金全上 十三丁ウ

一内務省同熊本縣下三角海湾築港費全上 十四丁

一陸軍省同薩蘭人工兵大尉月俸銀貸交換ノ儀 十四丁

一工部省同船破壞沈没ニ係ル費用全上 十五丁

一外務省上申朝鮮政府ノ償還ノ填補金收入方儀 十六丁ウ

一中仙道鐵道布設費操替支出ノ儀 十八丁

一農商務省同馬取縣士族入江徹吉外一名賞下ノ水路開鑿費

金渡方ノ儀 十九丁ウ

一農商務省同岡山縣士族紡綿事業資金全上 二十丁

一農商務省同秋田縣士族就産資金全上 二十一丁

陸軍省

一宮内省上申華族少壯ノ輩武官養成ノ為ノ陸軍士官學校特

科豫備生徒新設ノ儀 十六丁

海軍省

一朝鮮國仁川港本邦下ノ関間軍艦洗濯度敷改訂ノ儀 和丁ウ

一陸軍省同佐古墳墓勅祭々主旅費ノ儀 二十丁ウ

農商務省

一宮内省上申京都泉涌寺旧境内本省所轄ニ係ル分同省、引渡ノ儀 五下

工部省

一中山道鐵道布設ノ費用等ノ儀 十八下

司法省

一内務省同山形縣下飽海郡飛島浦外ニケ村布告布達施行期限ノ儀 十下

宮内省

一木戶孝允始六名勅撰碑文下賜ニ付鐫字並建設方ノ儀 八下

一岸良元老院議官勲位進叙ニ付奉授式執行ノ儀 二十二下

元老院

一古物商取締條例議定 四下

一刑法附則第四十九條改正ノ儀 全上 六下

一樺戶空知兩集治監、囚人刑期内重罪ヲ犯シタル者處分ノ儀 全上 六下

一陸海軍法術ニ於テ罰金科料ヲ禁錮拘留ニ換フルノ儀 全上 十一下

府縣

一富山縣、縣令交際費下付ノ件 十五下

一佐賀縣、全上 十五下

一宮寄縣公上

十五丁

冊
正
冊

明治十六年
十月一日

内務省

別紙工部省伺熱海電信分局敷地ト
シテ献納民有地受領ノ儀聞届候條
地種組換等成規ノ通可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

十月一日

十月二日火

外起

海軍省

其省：於朝鮮國仁川港本邦下、間
間毎月二回軍艦往復可為致旨本年
二月十日付ヨ以相達置候處本月ヨリ
毎月一回、往復ニ改ムヘク右ニ由リ
減スヘキ費額早々取調申出ヘシ
右相達候事

年月日 太政大臣

外起

大藏省

朝鮮國仁川港、定期郵船通航、儀
ニ付別紙、通農商務省、相達候條
金額本年度ニ屬スル分ハ豫備金、内
ヨリ渡方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

内務省

別紙陸軍省伺廣嶋城内士族即地處
分、儀聞届候條地糧組替等成
規、通可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

十月二日

十月三日水

内務省

別紙司法省伺福井始審裁判所敷地
地接續官有地園込、儀閣屈候條
地裡組換等成規、通可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省稟申贖物領置中紛失レ
シル辨償金下付、件朱書、通及指
令候條金額亦年度府縣費雜費、内
ヨリ渡方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省伺山形縣下羽前國西置賜
郡小出村、於テ電信分局敷地トレテ
民有地買收受領、儀閣屈候條地種
組換等成規、通可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

十月三日

局起

内務省

東京府下麹町區永田町二丁目拾貳番地民
有宅地四千三拾七坪貳合三勺及崖地百三
拾七坪壹合四勺太政官官用地。買入候
降地種組替等成規、通可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

十月四日 木

局起

古物商取歸條例、儀
右其院議定。被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

行連返付

取付

封

年月日 太政大臣

外務卿并上段書殿

十月五日 金

内務省

別紙海軍省上請相州三浦郡猪ヶ谷灣ニ於テ
買上地并公道敷地共同省官用地ニ編入

儀間屆候條地種組換等成規、通可取
計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省上申京都泉涌寺舊境内地
御陵墓附属地ニ編入、儀間屆候條地
種組換等成規、通可取計此旨相達
候事

年月日 太政大臣

農商務省

別紙宮内省上申京都泉涌寺舊境内地

十月五日

御陵墓附属地ニ編入ノ儀聞届候條其
省所轄ニ係ル地所宮内省へ引渡方
可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省上申官有畑地ニ属スル水門
修繕費下渡方ノ件聞届候條金額本年
度府縣費雜費ノ内ヨリ渡方可取計此
旨相達候事

年月日 太政大臣

十月六日 土

十月七日 日
十月八日 月

十月 六

刑法附則第四拾九條改正ノ儀
右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

樺戸空知西集治監、囚人刑期内重罪ヲ
犯シタル者處分ノ儀

右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

別紙内務農商務西省連署伺
大藏省

根室縣ハ汽船下付ノ件朱書ノ通
及指令候條金額本年度ニ屬ス
ル分ハ豫備金ノ内ヨリ渡方可取
計此旨相違候事
年月日 太政大臣

大藏省

別紙農商務省上申蝗虫驅費
ノ件聞届候條金額本年度豫備
金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相
違候事

年月日 太政大臣

内起
今般大師號國師號賜與内規別
册ノ通被定假條為心得相達候
事

年月日 太政大臣

十月九日火

局印

宮内省

木戸孝允
大久保利通
大原敬親
大倉具視
岩倉具視
廣沢真臣
右六名ハ勅撰碑文下賜候條鑄字并
建設等總ノ於其省可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

山形縣、製塩會社資金トシテ金六千百五
大藏省

拾八圓ヲ五個年ニ割合十六年度ニ金貳千四
十七年度ニ金千五百四十八年度ニ金千貳
百圓十九年度ニ金八百四十二年度ニ金六百
五拾八日本年貸下ノ月ヨリ来ル二十二年六
月ヨテ据置同年七月ヨリ二十六年六月ヨテ無
利子四個年賦毎年五月限り返納定メテ以
テ貸下ノ儀農商務省ヨリ上申ニ付開店候
條金額臨時歳出雜支出中雜出ノ内ヨリ
支出方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

別紙司法省同然失金棄捐ノ儀朱
大藏省

書ノ通及指令候條金額十五年度常
用在金ノ内ヨリ雜出トシテ交付可致此旨
相違候事
年月日 太政大臣

大藏省
別紙内務省上申製薬場器械
購求代ノ件朱書ノ通及指令候
條銀貨交換方可取計此旨相
違候事

年月日 太政大臣

十月十日 水

局起

在澳國維也納府大學博士スライン儀
ニ付別紙伊藤參議上申、趣聞屆候
條可然取計可致此旨及内達候也

年月日 太政大臣

外務卿井上馨殿

十月十一日 木

十月十二日 金

司法省

別紙内務省伺へ朱書ノ通指令及
候條為心得此旨相達候事

年月日 太政大臣

山形縣下村有古宮遺蹟

内務省

別紙陸軍省伺栃木縣下宇都宮ニ於テ
鉞兵作業場トシテ民有地買收受領ノ
儀簡屆候條地種但換等成規ノ通可取
計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十月十三日 土

大藏省

別紙司法省伺舊今治藩卒武田隆輔
七外八名給禄ノ儀朱書ノ通及指令
候條收禄ノ當年ニ遡リ復禄可取計
此旨相達候事

年月日 太政大臣

大蔵省

別紙文部省伺東京府脚氣
病院殘金ノ内同省、受條金
用件朱書ノ通及指令候條金



額受渡方可取計此旨相違

事
但東京府補助金殘額ハ還
納ノ詮議ニ不及候事
年月日 太政大臣

陸海軍法衛ニ於テ罰金料料ヲ
禁銅拘留ニ換フルノ儀
右其院議定ニ被付候事
年月日 太政大臣

元老院議長佐野常成殿

大藏省

別紙太政官會計主管參議伺太政官
御用掛今村和郎歐洲滞在費支給
方ノ件聞届候條銀貨貳千五百三十拾
八月七拾錢時價ヲ以テ交換方可取計
此旨相違候事
年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省伺鹿見島縣申候毒蛇撲
殺費別途下付ノ件聞届候條金額本
年度府縣費雜費ノ内ヨリ渡方可取
計此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

青木林縣ヨリ士族機織業補助資金トシテ
金七萬円ヲ四ヶ年度ニ割合十六年度ニ
金七千七百五十円十七十八十九ノ三ヶ年
度ニ各金七百五十円ツ、来ル二十一年六
月迄無利子据置向フ四ヶ年賦返納定
メラ以テ貸下ノ儀農商務省ヨリ上申
ニ付聞届候条金額臨時歳出雜支出
中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

大藏省

外務省上申朝鮮國京城公使館家
屋購求等ノ義別紙朱書ノ通及指令
候条右費額金四萬圓ハ本年度常用
金ノ内ヲ以テ支出方可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

十月十四日

十月十三

十月十五日

大藏省

別紙内務省上申西南、役警備ニ従事セシ
者賞與ノ件聞届候條金額本年度常用
在金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日

太政大臣



十月十六日

大藏省

別紙内務省同熊本縣下三角海
灣築港費ノ儀朱書ノ通及指令
候條百貫石築港費補助豫算
額ヲ以テ振替渡方可取計此旨相
達候事

年月日

太政大臣

大藏省

別紙陸軍省同雇蘭人工兵大尉月俸
銀貨ノ件朱書ノ通及指令候条交

換可取計此旨相違候事

年月日

太政大臣

十月十七日水

十月十八日木

十月十九日金

大藏省

別紙工部省同燈船破壊沈没ニ係ル費

用別途下付、件間届候將金額各年度

常用在金額、内ヲ以テ渡方可取計此旨

相違候事

十月十五

年月日 太政大臣

各通

富山

賀

縣

佐

崎

縣

其縣令一交際

際

費

本

年

一々年金三百

回

給與

候

條

此旨

相違候事

但本文金額

廳費

支

出

不

一々

年月日 太政大臣

十月二十日 王

内務省

電信分局及海底線陸揚庫用地ノ義ハ當

分ノ内録道用地同様工部省限リ處分可

致候條此旨相違候事

年月日 太政大臣

陸軍省

別紙宮内省上申華族少壯ノ輩武官

十月

月

十六

養成ノ為、陸軍士官學校特科豫備
生徒新設、儀間届候條同省協議
可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙外務省上申朝鮮政府ヨリ償還、
填補金本年分墨銀五萬弗受取濟ノ
件朱書、通及指令候條金額收入方
可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十月二十一日日
十月二十二日 月

内務省

別紙司法省同大館治安裁判所敷地ト
シテ地續官有地并民有地買收受領ノ
儀間届候條地種組換等成規ノ通可
取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙司法省同五所河原治安裁判所敷
地トシテ同所民有地買收受領ノ儀開
届候條地種組換等成規ノ通可取計
此旨相達候事

年月日 太政大臣

十月廿三日火

工部省

今般中仙道鐵道布設ノ儀決定候ニ付
来ル十七年度ニ於テハ其經費トシテ
金五拾万円別途支出スヘキニ付兼テ
上申ノ通リ速ニ工事ニ着手致スヘシ
此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

今般中仙道鐵道布設ノ儀決定候ニ付
テハ兼テ上申ノ通来ル十七年度ニ於
テ準備金中ヨリ金五拾万円繰替支
出スヘシ此旨相達候事

十月十八日

年月日 太政大臣

内務省
別紙ノ通工部省ノ相違候ニ付為心得
此旨相違候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省同兵庫縣下神戸區兵庫東
出町港川尻字相濱官有地石炭蓄藏場
所ニ需用ニ付同省用地トシテ受領ノ義聞届
催條地種組換等例規ノ通可取計此旨相
違候事

年月日 太政大臣

十月二十四日 水

十月二十五日 木
十月十九

十月二十六日 金

大藏省

鳥取縣士族入江徹吉外一名へ水路開鑿資本トシテ金壹萬五千圓無利子本年度ヨリ廿一年六月マテ置据向フ十五ヶ年賦返納ノ定メヲ以テ別途貸下ノ儀農商務省ヨリ上申ニ付勸業資本

金ノ内ヨリ可貸渡旨及指令候條本年度臨時歳出雜支出中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

岡山縣士族紡綿事業資本トシテ金貳萬五千圓無利子三ヶ年置据向フ四ヶ年賦返納定メヲ以テ別途貸下ノ儀農商務省ヨリ上申ニ付先以勸業資本金ノ内ヨリ可貸渡旨及指令候條本年度臨時歳出雜支出中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨相違候事

十月二十

年月日 太政大臣

十月二十七日 土

海軍省

別紙陸軍省同佐古墳墓勅祭祭主旅費ノ儀同届候條該費用ハ曩ニ其省ニ下付候該祭典費ノ増額ノ積ヲ以テ金額取調更ニ可申出此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

秋田縣士族就産金トシテ金貳千五百三拾貳圓本年貸下ノ月ヨリ無利子采ル廿一年六月迄置据同年七月ヨリ向テ四年賦返納定ヲ以テ貸下ノ儀農商務省ヨリ上申ニ付同届候條金額臨時歳出雜支出中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十月二十八日
十月二十九日

十月三十日

十月三十一日

宮内省

元老院議官從四位勳三等岸良兼養
右勳二等三可被叙候、付来十一月一日奉授
式執行可致此旨相達候事

年月日
太政大臣

明治十六年十一月日録目次

太政官

一賞勳局、内務省同遺失係勳章處分方儀十七下

一官省院廳府縣、文部省直轄官立學校及公立學校生徒怠惰不品行等依退學セシメタル者採用期限儀二下

一各官省、専属書記官諸費支給方儀十八下

内務省

一工部省同秋田縣下院内鑛山局小河前鑿用地之種組替儀三下

一宮内省同府下豊島郡下渋谷村皇宮地附屬地全上二下

一官内省同鹿見島縣下梅宿郡福元村令上 三丁ウ

一陸軍省同府下深川區西大工所官有地令上 四丁

一陸軍省同府下牛込區市ヶ谷加賀町士官學校附屬馬場地令上 二丁ウ

一陸軍省同官城縣下玉造郡大日村陸軍軍馬出港所用地令上 六丁ウ

一工部省同河仁鑛山局ヲ小澤採鑛所ヲ車道敷地令上 七丁

一海軍省上請一尋水兵小林孫十、退還材給與ノ儀 九丁ウ

給與ノ儀 十丁

一陸軍省同府下麻布區新龍土所諸兵作業場用地々種組替ノ

儀 十一丁ウ

一天藏省同租稅局大坂出張所用地令上 十二丁

一外務省上申兵庫縣下神戸港貴賓接待館隣地令上 十二丁ウ

一官内省上申府下四谷仲所一丁目官有地令上 十三丁ウ

一工部省同橫濱電信分局敷地令上 十四丁

一司法省同千葉監獄裁判所八日市場支廳官舎敷地令上 十四丁

一工部省同秋田縣下河仁鑛山局鑛業用石炭採掘地令上 十五丁ウ

大 藏 省

一内務省同道路開修費渡方ノ儀 一丁

一農商務省同船舶保險事業興起有船舶検査所創設費令上 二丁ウ

一元光院上申經費金操上渡ノ儀 五丁

一内務省同様戸集治監道路開整費渡方ノ儀 五丁

一農商務省同取可セラルル現金補填費会上 五丁ウ

一内務省同上納金ニ對スル利子金会上 五丁ウ

一内務省同獨之人ノ本省ニ係ル詞訟和解ニ関ル手當金会上 六丁

一農商務省再同炭鑛鐵道營業資本増額金会上 七丁ウ

一皇居御造營事務向同皇城次上ニ付献金者ノ賞典呈代会上 七丁ウ

一農商務省同東京府勸業資本金会上 八丁

一陸軍省同西南後營典金ノ内分金ノ分会上 八丁ウ

一海軍省上請十五年度興業費増額金会上 八丁ウ

一海軍省上請元一導水兵小林孫十、退還料給典ノ儀 九丁ウ

一海軍省上請故一等水兵志賀常松寡婦扶助料ヲ止メ更ニ孤

兒、給典ノ儀 十丁

一文部省同米國華盛頓府公會委員派遣費渡方ノ儀 十一丁ウ

一外務省上申兵庫縣下神戸港貴賓接待館隣地買上代同

上 十二丁ウ

一農商務省同御用掛橋口文藏佛國滞在及獨ニ國出張費人上 十三丁

一工部省同兵庫造船局興業費中外國ニ関ル費金時價交換方ノ

儀 十六丁ウ

一農商務省同熊本縣士族授産資金渡方ノ儀 十七丁

一農商務省同幌内錢道用電線架設費受渡方ノ儀 十九丁

陸軍省

一 旧恩給令に依り恩給扶助料等ヲ給與スル者及給與スヘキ資格ヲ備
タル者ニ旧恩給令ニ照シ給與ノ儀 九丁

一 大坂府下ニ憲兵設置ノ儀 十九丁ウ

海軍省

一 本省中五等六等教官大禮服飾章紋章ノ儀 六丁

一 旧退隱令に依り退隱料等ヲ給與シタル者及給與スヘキ資格ヲ備タル者ハ
旧退隱令ニ照シ給與ノ儀 九丁

司法省

一 丙務省同山口縣下見島郡布告布達施行期限ノ儀 十六丁ウ

元 老 院

一 地稅第四納期改小ノ儀議定 一丁

一 徵兵令改小ノ儀令上 一丁ウ

一 海員雇入雇止規則改小ノ儀令上 三丁

一 烟草稅則追加ノ儀令上 十丁

一 酒造稅則等ニ関シ規則ノ謄憑取調處分ノ儀 十丁

一 公立農學校實驗用田圃稅免除ノ儀令上 十丁ウ

一 明治九年第百貳拾九号布告廢止等ノ儀令上 十丁

明治十六年
十一月一日 本

大藏省

別紙内務省同道路開修費下付、件
朱書ノ通及指令候條金額繰替渡
方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

地稅第四納期改正ノ儀
右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

十一月

十一月二日金

徵兵令改正ノ儀

右其院議定ニ被付准事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常次殿

十一月三日土

天長節

十一月四日

十一月五日

官省院廳府縣

文部省直轄官立學校學生々徒及公立學校生徒ニシテ怠惰不品行其他犯則ニ係リ退學セシメ准者ノ内文部卿ニ於テ官公私立ノ學校へ入學ヲ禁止シタル者ハ其退學ノ日ヨリ滿三箇年ヲ經過セザレハ採用スヘ

カラス尤退學者ノ姓名ハ其都度文部省ヨリ通報スヘシ此旨内達候事

但滿三箇年ヲ經過スト雖モ學校教員トナスニハ教育令第三十七條但書ニ準據スヘキハ勿論タルヘシ

年月日 太政大臣

大藏省

別紙農商務省伺船舶保險事業興起ノ義朱書ノ通及指令候條政府株金ノ取扱等得其意船舶検査所創設費金壹萬三千圓ノ内本年度ニ属スルハ常用在金ノ内ヨリ可相渡積ヲ以テ該省協議ノ上

支出方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

海口貝雇入雇止規則改正ノ儀右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣
元老院議長佐野常武殿

内務省

別紙工部省伺秋田縣下院内鑛山局鑛鑛水車運轉用水溜池餘水分流ノ為小河開鑿用地トシテ民有地買收ノ義内属候條地種以換等成規ノ通可取計此

十一月三

旨相達儀事

年月日 右政大臣

内務省

別紙宮内省上中東京府下南豊島郡下
渋谷村字仔勢山、内松平容大所有地与
般皇宮地所屬地トシテ買收、義岡屈儀
條地種畑換等成規、通可取計此旨
相達儀事

年月日 右政大臣

内務省

別紙宮内省上中鹿兒島縣下薩摩

國揖宿郡福元村字熊野所、内官有地
并民有地共白皇宮地所屬地トシテ受領
ノ義岡屈儀條地種畑換等成規、通
可取計此旨相達儀事

年月日 右政大臣

内務省

別紙陸軍省同東京府下深川區西大工
町貳番地及三番、内貳号民有地并建
家共買收、儀岡屈儀條地種畑替等
成規、通可取計此旨相達儀事

年月日 右政大臣

十一月四

内務省

別紙陸軍省伺東京府下牛込區市ヶ谷加賀町壹丁目拾四番地民有地陸軍士官學校付屬馬場地ニテ買收ノ義因屆候條地種組換等成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十一月六日火

大藏省

別紙元老院上申經費金繰越渡ノ件朱書ノ通及指令候條金額請求ノ時々繰上渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省伺樺戶集治監道路開鑿費ノ件朱書ノ通及指令候條金額十五年度常用在金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省
別紙農商務省稟請欺取セラレタル現
金補填下付ノ件聞届候條金額本年
度常用在金ノ内ヨリ渡方可取計此
旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省
別紙内務省伺上納金ニ對スル利子下渡
ノ件朱唇ノ通及指令候條金額本年度
府縣雜費ノ内ヨリ渡方可取計此旨相
違候事

年月日 太政大臣

大藏省
別紙内務省伺獨逸人ヨリ同省ニ係
ル詞訟和解ニ關シ手當金ノ件聞
届候條金額本年度常用在金ノ内
ヨリ繰合渡方可取計此旨相違候
事

年月日 太政大臣

十一月七日

其省中五等六等教官大禮服飾章
海軍省
左ノ通相定候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙陸軍省同宮城縣下陸前國王造郡
大口村字鍛治谷澤民有地陸軍軍馬
局出張所用地下ニテ買收ノ儀聞届候
條地種但換等成規ノ通可取計此旨

相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省同阿仁鑛山局ヨリ小澤採
鑛所迄鑛物其他諸物品運搬ノ為車
道敷地トシテ官有地并民有地買收受
領ノ儀聞届候條地種組換等成規ノ
通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十一月七

十一月八日 木

大藏省 別紙農商務省再伺炭礦鐵道營業
資本増額ノ件間届候條金額受渡
方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省 別紙皇居御造營事務局伺皇城茨
上ニ付獻金者ハ賞與品代等別途下

付ノ件間届候條金額本年度常用
在金ノ内ヨリ繰合渡方可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

東京府勸業資金トシテ金三萬圓無利
子三ヶ年据置向フ四ヶ年賦返納定ヲ
以テ別途貸下ノ儀農商務省ヨリ上申
ニ付先以テ勸業資金ノ内ヨリ繰替可
貸渡旨及指令候條本年度臨時歳出雜
支出中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨
相達候事

十一月八日

年月日 太政大臣

大藏省

別紙陸軍省伺西南ノ役賞與金ノ内
紛失ニ付別途下渡ノ件聞届候條金
額本年度常用在金ノ内ヨリ渡方可取
計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙海軍省上請十五年度興業費殘
額十六年度ニ於テ増額御下付ノ件
聞届候條金額本年度常用在金ノ内

ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

陸軍省

本年第三拾七號達ヲ以テ陸軍恩給令ヲ
改正シ陸軍罷役俸并恤金令廢止候處
右恩給令改正前ニ由恩給令ニ依リ恩給扶
助料罷役俸罷役恤金ヲ給與シタル者又ハ
給與スヘキ資格ヲ備ハ詮議中ニ係ル者ハ舊
恩給令ニ照シ給與スヘシ此旨相達候事

年月日 太政大臣

海軍省

本年第三拾八號達ヲ以テ海軍恩給令
ヲ定メ從前^{海軍}退隱令廢止後該恩給
令發布前ニ退隱令ニ依リ退隱料扶助
料ヲ給與シタル者及テ退隱料扶助料
取極金ヲ給與スヘキ資格ヲ備ヘ支給方
詮議中ニ係ル者ハ退隱令ニ照シ給與ス
可ニ此旨相達候事

年月日 左政大臣

内務省
大藏省

別紙海軍省上請元海軍一等水兵小林
孫十、退隱料給與ノ儀間屆候條成

規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省
大藏省

別紙海軍省上請故海軍一等水兵志賀
榮松寡婦扶助料ヲ止メ更ニ同人孤兒
扶助料支給ノ儀間屆候條成規
ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十一月九日 金

十一月十日 土

十一月十一日 日
十一月十二日 月

十一月十三日 火

十一月十一

十一月十四日 水

内務省

別紙陸軍省同東京府下麻布區新龍
土所民有地諸兵隊作業場用地トシテ
買收ノ儀閣屈原際地種組換等成規
ノ通可取計此旨相違候事

年月日 大政大臣

大藏省

別紙文部省同米國華盛頓府公會委
員派遣費ノ件朱書ノ通及指令原際

金額本年度常用在金ノ内ヨリ渡方可
取計此旨相違候事

年月日 大政大臣

内務省

別紙大藏省同租稅局大坂出張所使
臨ニ付同府下北區中ノ島四丁目拾六
番地民有地買收ノ儀閣屈原際地種
組換等成規ノ通可取計此旨相違候
事

年月日 大政大臣

大藏省

十一月 十二

別紙外務省上申兵庫縣下神戸港
二在〴〵同省貴賓接待館ノ隣地民
有地買上ノ件聞届候際金額受渡
方可取計此旨相違原事

年月日 太政大臣

内務省

別紙外務省上申兵庫縣下神戸港
二在〴〵同省貴賓接待館ノ隣地民
有地買上ノ件聞届候際金額受渡
方可取計此旨相違原事

年月日 太政大臣

十一月十五日 木

十一月十六日 金

十一月十七日 土

別紙宮内省上申四谷屋四谷仲町臺
下目九番地ノ内第二号民有地皇宮
附属地トシテ買收ノ義聞届候條地
種組替等成規ノ通可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

別紙工部省同横濱電信分局敷
地狹隘ニ付兼テ團込部地トシテ
奈川縣警察署所用ノ地ト交換
受領ノ義聞届候條地所組替等
成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

別紙司法省伺千葉始審裁判所八日市場
支廳附属官舎敷地トシテ民有地買收受
領ノ義聞届候條地種組替等成規ノ通可
取計此旨相達候事

内務省

年月日 太政大臣

十一月十八日
十一月十九日

大藏省
別紙農商務省伺御用掛橋口文藏佛
國滞在及獨逸國出張ノ件開屆候條
金額本年度常用在金ノ内ヨリ渡方可

取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十一月二十日 火

十一月 十五

十一月二十一日

内務省

別紙工部省同秋田縣下羽後國北秋田郡
荒瀬村字十二ノ澤民有地阿仁鑛山局
鑛業用石炭堀採用地トシテ買收ノ義尚
屆候條地種租換等成規ノ通可取討
此旨相達候事

年月日 太政大臣

十一月廿二日 木

煙草稅則追加ノ儀

右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

酒造稅則等ニ關シ犯則ノ證憑取調處
分ノ儀

右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

十一月十六日

公立農學校實驗用田圃免稅ノ儀
右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

司法省

別紙内務省同、米書、通指令ニ及ヒ候
條為心得此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙工部省同兵庫造船局興業費中

外國ニ関スル費用、件關係候條時
價交換方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

賞勳局

別紙内務省同遺失ニ係ル勲章慶分ノ
儀米書ノ通及指令候條此旨為心得
相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

熊本縣士族授産トシテ金七千貳百圓本年度
貸下ノ月ヨリ來ル十九年六月迄無利子置

十一月十七

据向ノ四個年賦返納定ヲ以テ貸下ノ儀農商
務省ヨリ上申ニ付間屆候条該金額本年
度臨時歳出雜支中雜出ノ内ヨリ支出方可
取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十一月二十三日 金 新嘗登
十一月二十四日 土

官 省

専属書記官ニハ諸費トシテ一頁ニ付一月
百山以内ヲ限リ太政官及各省經費金ヨ
リ支給スベシ此百内違原事

年月日 太政大臣

周極府常務紙及御印

外内大臣海文 印
農工部官 印
計部官 印

明治九年第百貳拾九號布告廢止等ノ儀
右具院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

十一月廿五日
十一月廿六日

十一月廿七日

大藏省

別紙農商務省伺幌内鐵道用電線架設
費別途下付ノ件朱書ノ通及指令候條金
額受渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十一月廿八日

十一月十九

十一月廿九日 木

十一月三十日 金

陸軍省

陸軍省

自今大阪府下ニ憲兵ヲ設置原條此旨

相違候事

但東京憲兵ノ内一中隊ヲ分遣スルニ
年月日 大政大臣

十一月二十

明治十六年十二月日録目次

太政官

一 修史館、本館中副總裁ヲ置キ職制中追加ノ儀 二十三丁

外務省

一 原敬ヲ天津在留領事ニ被任タルニ付テ御委任状 二丁

一 公使領事費用條例中追加更止ノ儀 三丁

一 天藏省同輸出米穀積取トシテ外國商船不閉港場ニ入港ニ付免

狀渡方ノ儀 十五丁

一 海軍省上請英國海軍本部委員ニ謝狀送付方ノ儀 十八丁

一 兵庫及大坂在留英國領事ノ御詮認狀 十九丁

内務省

一司法省同水引治安裁判所移轉敷地ノ種組替ノ儀 二丁

一陸軍省同需用ノ地所今上 二丁

一岩村會計検査院長同沖繩縣十二年度終察費處分方ノ儀 二丁

一陸軍省同府下南豊島郡原宿村諸兵作業場用地ノ種組替ノ儀 八丁

一官内省同齊王隆子女王御墓北域地今上 八丁

一工部省同阿仁鑛山支局小坂鑛山用地今上 九丁

一司法省同盛岡地裁裁判所附屬官舎敷地今上 十丁

一海軍省上請故中軍医服部春平寡婦、扶助料及一時賑恤金

一陸軍省同青森縣下東津輕郡筒井村青森營所火藥庫具地敷地今上 十六丁

陸軍省

一司法省同浦和始審裁判所管内川越治安裁判所敷地今上 十七丁

一官内省同山口縣下豊浦郡地吉村安徳天皇御陵見込地今上 十七丁

一官内省同府下小石川區大塚坂下所護國寺境内地中今上 二十二丁

一司法省同札幌始審裁判所敷地今上 二十二丁

一農商務省同福島縣峰通出張局用地今上 二十五丁

一官内省同府下小石川區大塚坂下所護國寺境内地中今上 二十二丁

一司法省同札幌始審裁判所敷地今上 二十二丁

一農商務省同福島縣峰通出張局用地今上 二十五丁

一官内省同府下小石川區大塚坂下所護國寺境内地中今上 二十二丁

農商務省同愛知縣下愛知坊績所用地令上 二十六丁

宮内省上申府下四谷仲所民有地令上 二十六丁

海軍省上請故二等水兵中根庫種外一名遺族扶助料給與

儀 二十二丁

大 藏 省

内務省同新大橋修繕五架格費渡方ノ儀 初丁

陸軍省同地所受領ニ係ル費金令上 二丁

陸軍省同棄捐金令上 五丁

農商務省同本國自費遊學生在留ニ係ル費金銀貨交換方ノ儀 五丁

儀 五丁

伊藤參議一行歐洲行諸費増額金本政官ノ渡方ノ儀 五丁

農商務省同宮城縣士族勸業資金渡方ノ儀 六丁

元老院上申議官俸給令上 六丁

内務省同栃木縣下道路開墾補助費令上 七丁

農商務省同旧佐土原藩士族勸業資金令上 八丁

工部省同小坂鑛山用地トシテ民有地買收費受渡方ノ儀 九丁

農商務省同愛媛縣勸業資金渡方ノ儀 九丁

官幣小社別格官幣社國幣小社官同月俸更正ニ付毎社年額金

增加ノ儀 十二丁

海軍省上請故中軍医服部春平寡婦ノ扶助料ニ付一時賑恤

金給其ノ儀 十三丁ウ

一宮内省同本年度帝室費増額金渡方ノ儀 十五丁

一農商務省同驛進局各地出張局經費会上 十六丁

一陸軍省同十五年度雜收入豫算高了超過金受渡方ノ儀 十七丁

一農商務省同徳島縣勸業資金渡方ノ儀 十八丁ウ

一内務省同鹿兒島縣虎列刺病院臨時費受渡方ノ儀 十八丁ウ

一海軍省同外國出張加俸并食料支給額各國任務交換差額

時價交換交換方ノ儀 二十丁

一女官月俸其官等相當月給下賜ニ付帝室費ノ内ノ宮内省

經費、組替ノ儀 二十丁ウ

一宮内省同成務天皇外二陵敷地買上代渡方ノ儀 二十二丁ウ

一内務省同衛生上必需品、器械書籍代不足追渡金会上 二十二丁ウ

一米國人イニテハウス、ノ特別年金会上 二十二丁

一工部省同佐渡鑛山局混頓所増築費会上 二十二丁

一内務省同樺戸空知兩集治監經費保上渡ノ儀 二十三丁ウ

一内務省同新道追削鑿費渡方ノ儀 二十三丁

一農商務省同共同運輸會社、下渡船代会上 二十三丁ウ

一農商務省同北海道樺室蘭兩省國後諸島航海補助費会上

上 廿四丁

一内務省同鳥取縣道路改築費会上 二十四丁ウ

一太政官臨時費時價交換ノ上令上

二十四丁

一農商務省同埼玉縣士族勸業券金令上

二十五丁

一農商務省同愛知紡績所用地買收費令上

二十六丁

一農商務省同埼玉縣士族勸業券金令上

二十六丁

一元花況上申議官俸令上

二十七丁

一農商務省上申前係織物陶漆器共進會經費令上

二十七丁

一農商務省同歐東行諸費不足金令上

二十八丁

一水年度官報發兌費太政官令上

二十九丁

一農商務省同三重縣下田藩藩祿卒授産金令上

二十九丁

一農商務省同愛媛縣勸業券金令上

三十丁

一外務省上申外國ニ関スル正貨交換方ノ儀

三十丁

一海軍省上請故二等水兵中根庫種外一名遺族扶助料給與

ノ儀

三十二丁

陸軍省

一庚十七年ノ京都御所ニ於テ新年奉賀式被仰出付是禮外二門

ノ儀仗兵差出ノ儀

初丁

海軍省

一本省中技術官名称等級俸給改定ノ儀

十四丁

一朝鮮國常備軍艦ノ内滿月一回ノ元山港、西港ノ儀

二十三丁

農商務省

一外務省上申本省管船局ニテ審問判定セシ事件上訴官衙ノ儀 二十七下

司法省

一内務省同新潟縣下布告布達施行期限ノ儀 十五下

一外務省上申農商務省管船局ニテ審問判定セシ事件上訴官衙ノ儀 二十七下

一刑事檢事判事補檢事補年俸月俸改正ノ儀 二十八下

一陸軍省同勳章年金褫奪及停止取扱手續ノ儀 二十八下

一内務省同兵庫縣下布告布達施行期限ノ儀 二十九下

元老院

一酌造營業者取締ノ儀議定 四下

一六歳省證券發行ノ儀令上 十下

一賭博犯處分規則令上 十九下

一金札引換無記名公債證書條例令上 二十四下

一中仙道録道公債證書條例令上 二十四下

一本院議定上奏ノ徵兵令改訂ノ儀更修訂加布告後檢視 二十九下

一高等法院管轄事件ノ儀布告後檢視 二十九下

府縣

一函館沖繩札幌根室縣一般人民巡査同様ノ勸ヲナシ北場セシ

一吊糸扶助料等ノ儀 七下

一京都府始二府三十五縣官幣小社別格官幣社國幣小社官
司月俸更心府神社經費年額中增加ノ儀
十一月ヨリ
十二月ウマシ

明治十六年
十二月一日土

陸軍省

來明治十七年ヨリ
新年參賀式被
仰出候ニ付一月
一日午前十時ヨリ午後四時マテ左ノ三
門ハ為儀仗最寄鎮臺ヨリ兵員
可差出此旨相達候事
年月日
太政大臣

宣建建
秋春禮
門門門

十二月

十二月二日
十二月三日

別紙内務省印同新大橋修繕及
架換費下渡方ノ義聞届候條各
金額相高年年度常用在金ノ内リ
繰合也渡方可取計此旨相達候

事

年月日 大政大臣

内務省

別紙司法省伺水引治安裁判所移廳敷
地卜ニテ鹿兒島縣下薩摩國高城郡宮
内村字森尾畑民有地買收ノ義聞届候
條地種但換等成規ノ通可取計此旨相
達候事

年月日 大政大臣

内務省

別紙陸軍省伺地所受領等ノ儀聞届

十二月二日

候條地種組換等成規ノ通可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙陸軍省伺地所受領等ノ儀朱書ノ
通及指令候條金額本年度常用在金ヨ
リ下渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十二月四日 火

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル
日本國皇帝此書ヲ見ル有衆ニ宣示ス
朕清國天津ニ領事ヲ在留セシムル下ラ必
要ト慮リ朕カ信用スル所ノ勤勉誠實ナ
ル原敬ノ天津在留領事ニ任シ即テ兩國
ノ條約ニ從ヒ其地ニ到ル我國臣民ノ權利
及ヒ商船貨財貿易等ヲ保護シ且其訴
訟ヲ判決スルノ權ヲ授與ス宜シク朕カ旨
ヲ体シ其地ニ到レル我國臣民ニ諭告シ此
命令ヲ遵奉セシムヘキヲ命ス故ニ

十二月 三

清國皇帝ハ官民等原敬、領事タル
ヲ承允シ至當ノ需ヲ為サハ之ニ補助ヲ
與ヘラレンコトヲ冀望ス

神武天皇即位紀元二千五百四十三年
明治十六年十二月四日東京宮中ニ於テ
親ラ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名

大日本
國璽

奉勅 外務卿井上 馨

外務省

公使費用條例第壹號第貳號第伍號第七

號表中左、通追加更正假條此旨相達候事

年月日 太政大臣

十二月五日

酌造營業者取締ノ儀

右其院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

十二月

十二月六日 水

十二月七日 金

十二月八日 土

大藏省

別紙陸軍省伺棄捐金ノ件聞届候
條金額本年度府縣^費雜費ノ内ヨリ渡
方可取計此旨相達候事

年月日 大藏大臣

大藏省

十二月

五

別紙農高務省伺未國自費游
臨學生採用ノ上直下ニ在留ノ儀朱書
ノ通及指令候條心付交換方可取
計此旨相達候事
年月日 太政大臣

十二月九日
十二月十日

大藏省

伊藤參議一行歐洲行諸費増額トシテ
十五年度ニ於テ銀貨八千圓通貨三千
五百圓同年度常用在金ノ内ヨリ太政
官、渡方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

大藏省

宮城縣ハ士族勸業資本トシテ金九千貳
百三拾六圓本年貸下ノ月ヨリ来ル二十一
年六月迄無利子置据同年七月ヨリ向
四ヶ年賦返納ノ定ヲ以テ貸下ノ儀農高
務省ヨリ上申ニ付聞届候條金額臨
十二月六

時歲出雜支出中雜出ノ内ヨリ支出方
可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙會計検査院長岩村通俊伺沖繩縣
十二年度警備費ノ件下付係條其省ニ
於テ夫々處分可致此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙元老院上甲議官俸給請求ノ件
關係條金額本年年度常用在金ノ内ヨリ

渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省伺豫木縣下道踪開墾費漸
補助ノ件關係條十六年度ニ屬スル分同
年度常用有金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

十二月十一日火

各通

函館縣 沖繩縣 札幌縣 根室縣

一般人民ニシテ巡查同様ノ働ヲナシ死傷セシ者ハ別紙明治十五年第六拾七號達ノ通可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

大藏省

旧佐土原藩士族勸業津貝金トシテ金壹萬圓ヲ三箇年ニ割合本年ニ度ニ五千圓十七年度ニ貳千五百圓十八年度ニ貳千五百圓十七年七月ヨリ二十二年六月マテ据置同年七月ヨリ三十二年六月マテ無利子十箇年賦毎年五月限リ返納ノ定メラ以テ償下ノ儀農工商務省ヨリ伺出聞届候條金額臨時歳出雜支出中雜出内ヨリ支出方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十二月 八

内務省

別紙陸軍省同東京府下南豊嶋郡原
宿村官民有地諸兵作業場用地トシ
テ受領ノ儀同届准條地種組換等成
規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省同齋王隆子女王御墓北
域地買上ノ儀同届准條地種組替等
成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙工部省同阿仁鑛山支局小坂鑛山
用地トシテ民有地買收ノ件朱書ノ通
及指令候條金額受渡方可取計此旨相
達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙工部省同阿仁鑛山支局小坂鑛山
用地トシテ民有地買收ノ儀同届准條地
種組換等成規ノ通可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

十二月九

大藏省

愛媛縣勸業資本金トシテ金千三百三拾貳圓本年ヨリ七ヶ年据置向十ヶ年賦無利子返納ノ定ヲ以テ貸下ノ儀農商務省ヨリ同出願届候條右金額本年度臨時歳出雜支出中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

十二月十二日 水

内務省

別紙司法省伺盛岡始審裁判所附屬官舎敷地トシテ陸中國南岩手郡仁王村第一地割貳拾番民有地買収受領義開届候條地種組換等成規ノ通可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

十二月十日

大藏省證券發行ノ儀
右具院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議以右御常民殿

三月十三日 木

大藏省

今般茅五拾七號ヲ以テ官幣小社別格
官幣社國幣小社官司月俸更正ノ儀相
達候ニ付テハ每社年額金貳拾四円神
社經費据置額ノ増加候條本年度ノ儀
ハ神社遷宮諸費ノ内ヨリ月割ヲ以テ渡
方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

京都府
今般茅五拾七號ヲ以テ官幣小社別格
官幣社國幣小社官司月俸更正候ニ付
其府別格官幣社ハ壹社ニ付金貳拾四
円ニ三社分合計金七拾貳円神社經費
十月二十一日

据置定額中へ増加候條此旨相達候事
但本年度ノ儀八月割ヲ以テ相渡候事
年月日 太政大臣

大坂府

以上前同文貳社分合計金四拾八円以下同文

年月日 太政大臣

各通 福岡縣 宮崎縣

以上前同文其縣官幣小社并國幣小社へ
壹社ニ付金貳拾四円ツ、貳社分合計金
四拾八円以下同文

年月日 太政大臣

各通 鳥取縣 山口縣 廣島縣

以上前同文其縣別格官幣社并國幣小社
へ壹社ニ付金貳拾四円ツ、貳社分合計金
四拾八円以下同文

年月日 太政大臣

島根縣

以上前同文其縣國幣小社へ壹社ニ付金
貳拾四円ツ、貳社分合計金四拾八円以下

十二月十二

同文

年月日

太政大臣

以上前同文其縣官幣小社、金貳拾四圓
以下同文

年月日 太政大臣

札幌縣
兵庫縣
茨城縣
千葉縣
三木縣

各通

以上前同文其縣別格官幣社、金貳拾四圓
以下同文

年月日 太政大臣

新潟縣
函館縣
愛知縣
靜岡縣
岐阜縣
岩手縣
青森縣

各通

十二月十三

以上前同文其縣國幣小社一金貳拾四圓
以下同文

秋田縣 石川縣 廣島縣 愛媛縣

年月日 太政大臣

別紙海軍省上請故海軍中軍鑿服部
春平寡婦一扶助料并一時賑恤金給
與儀聞屆候條成規ノ通可取計此

谷通 内務省 蔵省

旨相達候事
年月日 太政大臣

十二月十四日 金

十二月 十四

十二月十五日 土

海軍省

其省中技術官名稱等級俸給別表、通
改定候條此旨相達候事

年月日 太政大臣

十二月十六日 日
十二月十七日 月

司法省

別紙内務省伺布告布達施行期限
件朱書、通指令及、候條此旨
相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙宮内省上申本年度帝室費、金五
十圓増額ノ義朱書、通及指令候條右
金額本年度常用在金ノ内、以支出
方可取計此旨相達候事

十二月 年 月 日 太政大臣

外務省

別紙大藏省同輸出米穀積取トテ外國
高船不開港場入港、件聞届候條
同省ヨリ申出次旁免状渡方可取計
此旨相達候事

年月日 太政大臣

十二月十八日 火

大藏省

別紙農商務省同驛通局各地
出張局經費繰上請求、件聞届
候條金額繰上ケ渡方可取計此
旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙大藏省同長寄税関官舎建築敷
地トシテ民有地買收受願ノ儀聞届候
際地種組換等成規ノ通可取計此旨
相達候事

十二月十六日

年月日 太政大臣

内務省

別紙大蔵省伺横濱税關所属地石油檢
査場敷地神奈川縣官用地ト交換受領
ノ義聞届候條地種組換等成規ノ通可
取計以旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙陸軍省伺青森縣下陸奥國東津輕
郡筒井村字樽川ノ内官民両有地合面積
貳千五百七拾六坪青森縣所附屬火藥

庫敷地並執銃演習場用トシテ受領ノ
儀聞届候條地種組替等成規ノ通可
取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙司法省伺浦和始審裁判所管内川越沼
安裁判所新築敷地トシテ橋本縣下武蔵國入
間郡川越町字宮下町民有地買收并官有道
路圍込ノ義聞届候條地種組換等成規ノ
通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省伺山口縣下長門國豐浦郡地
吉村字丸尾山民有薪炭林并宅地共安
徳天皇御陵見込地トシテ買収ノ義聞届
候條地種紐換等成規ノ通可取計此旨
相達候事

年月日 右政大臣

大藏省

別紙陸軍省^甲伺十五年度雜收入豫算高ヨ
リ超過金一旦納付更ニ下付ノ件朱書ノ通
及指令候條金額受渡方可取計此旨相達
候事

年月日 太政大臣

十二月十九日水

外務省

別紙海軍省上請英國海軍本部委負三氏一
謝狀送附ノ件其省ニ於テ可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

十二月十八日

大藏省
德島縣勸業資本金トシテ貳千百
六拾圓本年ヨリ七ヶ年据置向十ヶ年
賦無利子返納ノ定ヲ以て價下ノ義農商
務者ヨリ伺出納ノ由ニ條右金額本
年度臨時歳出雜支出中雜出ノ内
ヨリ支出方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

大藏省
別紙内務省伺鹿兒島縣十一十二兩年
度席列刺病豫防臨時費不足金請求

件聞届候條金額受渡方可取計此
旨相達候事
年月日 太政大臣

賭博犯處分規則制定ノ儀
右其院議定ニ被付候事
年月日 太政大臣

元老院議長佐野常民殿

十二月二十日

十二月十九

大藏省

德島縣勸業資本金トシテ貳千百
六拾圓本年ヨリ七ヶ年据置向十ヶ年
賦無利子返納、定ヲ以償下ノ義我農商
務者ヨリ伺出向、由至條右金額本
年度臨時歳出雜支出中雜出ノ内
ヲ支出方可取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省司度見島縣十一十二兩年
度席別高家方臨時費不足金請求
年月日 大藏大臣

年月日 大藏大臣

其對勘安、新、古、新、車、方、可、取、計、此
課、計、以、處、以、賦、限、情、式、ノ、差

年月日 大藏大臣

十二月二十日 本

十二月十九

十二月二十一日 金

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝座ヲ踐ミタル
日本國皇帝御名

大不列顛兼愛倫皇帝護教主兼印度
皇帝維多利亞陛下今敕ゼームス・ソール・プ氏
ヲ兵庫及大坂在留大不列顛國領事
ニ任セラレタル旨ヲ述タル一千八百八十
二年四月一日付ノ委任状ヲ閱シ其旨ヲ
悉セリ因テ同氏ノ其職務上ニ付テノ殊
典特遇ヲ許可ス乃チ之ニ關係スル諸有
司ニ命スルニ同氏ノ兵庫及大坂在留大

不列顛國領事タルヲ認可シ職掌上至
當ノ補助ハ之ヲ與フハ々旨ヲ以テス

神武天皇即位紀元二千九百四十三年
明治十六年十二月二十一日東京宮中ニ於テ
親ヲ名ヲ署シ璽ヲ鈐セシム

御名

大日本
國璽

外務卿代理

奉勅 善議 伊藤博文

大藏省

別紙海軍省上請外國出張加俸并食料等
支給額各國貨幣交換差額ノ件朱書ノ
十二月二十

通及指令候條申出、時々交換方可取計
此旨相達候事

年月日 太政大臣

宮

大藏省

女官ノ義來十七年一月以降其官等相
當ノ月給金額可下賜旨裁定相成
就テハ十六年度ハ金九千七拾八
以降ハ金壹万八千百五拾六圓ヲ帝室御用
度ノ内ヨリ宮内省經費へ組替支辨ノ義
該省ヨリ上申ノ趣御届候條其通可取
計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省上中府下小石川區大塚坂下
町拾六番地第壹號真言宗護國寺境
内地中今般分割上地ノ分御墓所屬
地トシテ受領ノ義御届候條地種組換
等成規、通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙司法省同札幌始審裁判所敷地トシ
テ同所官有地受領ノ義御届候條地種
組換等成規、通可取計此旨相達候事

十二月二十二日

年月日 右政大臣

大藏省

別紙宮内省伺成務天皇外二陵敷地代金七百七拾五圓貳拾六錢六厘別送下液ノ儀開届候條金額本年度常用在金ノ内ヨリ繰合液方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省上申衛生上必需ノ器械書籍代不足金追渡ノ件朱書ノ通及指今候條金額交換方可取計此旨相

違候事

年月日 太政大臣

大藏省

米團人ノ工テハウスヘ特別年金通債貳千五百圓本年^度度^マ二十三年^度迄七ヶ年間別紙證書案ノ通^リ以^テ給与相成^ル條右金額年々^々通常歳出年金恩給諸^ノ内ヨリ支出方可取計此旨相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙工部省伺佐渡鑛山局混頭所増築

十二月二十二日

興業費増加ノ義朱書ノ通及指令候條
金額十五年度常用在金額内ヨリ渡方可
取計此旨相違候事
年月日 太政大臣

十二月廿二日

大藏省

別紙内務省上申樺戸空知兩集治監経

費繰上渡方ノ件開届候條金額繰上
渡方可取計此旨相違候事
年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省上申新道追開鑿費金下
付ノ件朱書ノ通及指令候條金額本
年度分ハ常用在金額内ヨリ渡方可
取計此旨相違候事
年月日 太政大臣

年月日 太政大臣

海軍省

其省ニ於テ朝鮮國常備軍艦ノ内来ル

十二月二十二日

十七年一月より隔月一回宛元山港へ回航
可取計以旨相達候事
年月日 太政大臣



修史館

今般其館中ニ副總裁ヲ置キ明治十四年正月
八號達職制中左ノ一項ヲ追加ス

副總裁 一員

職掌 總裁ニ亞ク

右相達候事

年月日 太政大臣

方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

金札引換無記名公債證書條例制定ノ儀
右具院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常臣殿

中山道鐵道公債證書條例制定ノ儀
右具院議定ニ被付候事

年月日 太政大臣

元老院議長佐野常臣殿

可取并其目相次如入者
古跡並期事 太政大臣

福 慶 燦 一 頁
御 掌 燦 燦 二 頁

八 聯 並 期 中 立 一 頁 並 燦 燦
今 如 其 期 中 並 燦 燦 置 燦 燦 即 於 十 四 年 即 榮 燦

十二月廿三日日
三月廿四日 月

別紙 農工商務省 同 大 藏 省 共同運轉會社

一 下 渡 船 代 價 義 聞 由 假 條 全 額 渡
方 可 取 計 此 旨 相 違 假 事
年 月 日 太 政 大 臣

金札引換無記名公債證書條例制定、儀
右具院議定、被付假事

元老院議長佐野常氏殿

中山道鐵道公債證書條例制定、儀
右具院議定、被付假事

年月日 太政大臣
元老院議長佐野常氏殿

十七年一月、隔月一回、元山港、回航
可取、并、民、由、相、越、如、入、自
古、味、並、那、事、太、政、大、臣

御筆 御書 二、五、八

幅 御書 一頁

八、御、書、御、書、中、式、一、頁、出、吐、八
令、銀、其、給、中、幅、御、書、一、頁、即、於、十、四、年、御、筆、可

十二月廿三日 日

十二月廿四日 月

大藏省 御書 一頁

御書 一頁 御書 一頁 御書 一頁

御書 一頁 御書 一頁 御書 一頁

御書 一頁 御書 一頁 御書 一頁

御書 一頁 御書 一頁 御書 一頁

御書 一頁 御書 一頁 御書 一頁

御書 一頁 御書 一頁 御書 一頁

十二月廿五日 火

大藏省

北海道、森、空、蘭、間、并、國、後、諸、島、航、海、費
未、八、十、七、年、一、月、以、降、可、下、渡、補、助、費、一、時

十二月 二十四

繰上渡、儀農商務省伺、對シ金六萬
圓下渡、義南屈候條右金額本年
度常用在、内ヨリ渡方可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙内務省伺鳥取縣道路改築
費七ヶ年賦繰替、義南屈候條
金額本年度常用在、内ヨリ
渡方可取計此旨相達候事



年月日 太政大臣

大藏省

一銀貨九千七百円

右ハ太政官ニ於テ臨時入用ニ候条時價
ヲ以テ交換渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

別紙農商務省伺福島縣驛通
出張局挾益ニ付同局接續民有地
并建家共買收ノ義南屈候條
地種相換等成規ノ通可取計
此旨相達候事

年月日 太政大臣

十二月二十五

大蔵省
埼玉縣士族勸業資本トシテ金七千圓
無利子三ヶ年置据向フ四ヶ年賦返納
定ソラ以テ貸下ノ儀農高務省ヨリ上
申ニ付聞届候充右金額ノ内金五千圓ハ
同省勸業委託金ノ内ヨリ支出スヘキ若
ニ付金貳千圓ハ本年度臨時歳出雜支
出中雜出ノ内ヨリ支出方可取計此旨
相達候事

年月日 太政大臣

大蔵省

別紙農高務省上申愛知紡績所用
地買收ノ義朱書ノ通及指令候条
金額受渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

内務省

別紙農高務省上申愛知縣三河國
額田郡大平村愛知紡績所用地トシテ
民有地買收ノ義聞届候条地種組
換等成規ノ通可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

内務省

別紙宮内省上申府下四谷區四谷仲町
壹丁目貳拾六番地民有地皇宮地附属
地トシテ買收ノ儀間屆候條地種組換等
成規ノ通可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

大藏省

埼玉縣士族勸業資本トシテ金四千五百
円貸下ノ年ヨリ無利子三ヶ年据置
向フ四ヶ年賦返納定メ以テ貸下ノ儀
農高勢省ヨリ上申ニ付聞屆候条右
金額本年度臨時歳出雜支出申雜

出ノ内ヨリ支出方可取計此旨相達候
事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙元老院上申議官俸給請求ノ件
聞屆候条金額本年度常用左金ノ内
ヨリ渡方可取計此旨相達候事

年月日 太政大臣

十二月二十七日

司法省
農商務省

別紙外務省上申農商務省管船局
ニテ審問判定セテ之件上訴官
衙門朱印通及指令候條為
心得相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

別紙農高務省上申繭絲織物陶器

漆器共進會經費繰上ヶ渡方、件朱
書ノ通及指令候条金額本年度常
用在金ノ内ヨリ渡方可取計此旨相
違候事

年月日 太政大臣

司法省

明治十年^{六月}第四拾六號同年^{七月}第五拾四號
同十二年^{正月}第五拾六號達判事檢事判事補
檢事補年俸月俸左ノ通改正候條此旨
相違候事

年月日 太政大臣

大藏省

十一月二十八

別紙農商務省伺歐米行諸費不足
金下付、件間屆候條金額十五年
度常用在、内ヨリ渡方可取計
此旨相達候事
年月日 右政大臣

司法省

別紙陸軍省伺勲章年金褫奪及
停止取扱手續、儀朱書、通及指
令候條此旨相達候事
年月日 右政大臣

本月廿二日議定上奏相成候儀兵令改正
、儀更ニ修正、加、別冊、通便宜布告
、後其院檢視ニ被付候事
年月日 右政大臣

元老院議長佐野常巳殿

第百六号、布告、付、附、

高等法院管轄事件、儀
右便宜布告、後其院檢視ニ被付候事
年月日 右政大臣

元老院議長佐野常巳殿

第百九号、布告、付、附、

大藏省
本年度官報發兌費トシテ金四萬
八千圓常用在金ノ内ヨリ左政官ハ
渡方可取計此旨相達候事
年月日 左政大臣

大藏省

三重縣下旧津三藩廣禄卒授産金三
百圓十六年七月ヨリ来ル二十三年六月迄
七ヶ年据置同年七月ヨリ向フ十六年賦
年々五月限無利子返納ノ定ヲ以テ
貸下ノ義農高務者ヨリ同出聞届
候條右金額臨時歳出雜支出中

雜出ノ内ヨリ渡方可取計此旨相
達候事
年月日 太政大臣

大藏省

愛媛縣勸業資本トシテ金三十拾
圓本年度ヨリ七ヶ年据置ノ後十ヶ
年賦返納ノ定ヲ以テ貸下ノ義農
高務者同ノ類ノ届候條本年年
度臨時歳出雜出ノ内ヨリ渡方可
取計此旨相達候事
年月日 太政大臣

